

令和4年度
SYLLABUS
講義要項

子ども学科

(令和4年度入学生用)

山村学園短期大学

子ども学科(令和4年度入学生) SYLLABUS もくじ

頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名
【教養科目】			【保育の内容・方法に関する科目】			【教職に関する科目】		
	日本国憲法	令和4年度開講せず		保育・教育課程論	令和4年度開講せず	28	教育方法・技術論	高後/橋本
	体育講義	令和4年度開講せず		保育内容総論 *	令和4年度開講せず		保育・教職実践演習(幼稚園) *	令和4年度開講せず
	体育実技	令和4年度開講せず	13	保育内容健康	橘		ICT教育の理論と方法	令和4年度開講せず
	保育英会話	令和4年度開講せず	14	保育内容人間関係	室井	【保育者の資質を高める科目】		
1	生命倫理	渡邊	15	保育内容環境	野口	29	子ども学演習Ⅰ *	宇田川/橘/酒井/室井
2	コンピュータ演習	新井	16	保育内容言葉	橘/富田	30	子ども学演習Ⅱ *	宇田川/橘/酒井/室井
3	キャリアアップセミナーⅠ *	宇田川/橘/酒井/室井	17	保育内容表現	福泉/酒井/楠原		子ども学ゼミナールⅠ *	令和4年度開講せず
4	キャリアアップセミナーⅡ *	宇田川/橘/酒井/室井	18	音楽Ⅰ	福泉/数野/福士		子ども学ゼミナールⅡ *	令和4年度開講せず
	キャリアアップセミナーⅢ *	令和4年度開講せず	19	音楽Ⅱ	福泉/数野/大導寺/中川悠 福士/町田/宮尾		乳児小児救命法	令和4年度開講せず
	キャリアアップセミナーⅣ *	令和4年度開講せず	20	図画工作	酒井	31	アウトドア演習A	高後/去田
5	保育入門	山村/酒井/橘/楠原/巢立	21	幼児体育	楠原		アウトドア演習B	令和4年度開講せず
【保育の本質・目的に関する科目】			22	乳児保育Ⅰ	巢立	32	ソーイング演習	成田
6	保育原理 *	室井		乳児保育Ⅱ	令和4年度開講せず	33	ナチュラルアート	酒井
	教育原理 *	令和4年度開講せず	23	子どもの健康と安全	田中	34	ダンスムーブメント	楠原
7	子ども家庭福祉	橋本		インクルーシブ教育・保育Ⅱ	令和4年度開講せず	【実習科目】		
	社会福祉	令和4年度開講せず		社会的養護Ⅱ	令和4年度開講せず	35	実習指導Ⅰ *	橋本/宇田川/巢立/橘/室井
8	子ども家庭支援論	巢立		保育・教育相談の理論と方法	令和4年度開講せず	36	実習指導Ⅱ *	橋本/宇田川/巢立/橘/室井
9	社会的養護Ⅰ	巢立	24	保育内容健康の指導法	橘		実習指導Ⅲ *	令和4年度開講せず
	保育・教職論	令和4年度開講せず	25	保育内容人間関係の指導法	室井	37	保育実習Ⅰ *	室井
10	インクルーシブ教育・保育Ⅰ	宇田川		保育内容環境の指導法	令和4年度開講せず	38	施設実習Ⅰ *	宇田川
【保育の対象の理解に関する科目】			26	保育内容言葉の指導法	橘/富田	39	教育実習Ⅰ *	橘
11	保育の心理学 *	山村/巢立		保育内容表現の指導法	令和4年度開講せず		保育実習Ⅱ *	令和4年度開講せず
	子ども家庭支援の心理学	令和4年度開講せず	27	子ども文化演習A	大島		施設実習Ⅱ *	令和4年度開講せず
	子どもの理解と援助	令和4年度開講せず		子ども文化演習B	令和4年度開講せず		教育実習Ⅱ *	令和4年度開講せず
12	子どもの保健	田中		ピアノⅠ	令和4年度開講せず	40	ディプロマ・ポリシーに掲げる学力の割合	
	子どもの食と栄養	令和4年度開講せず		ピアノⅡ	令和4年度開講せず	40	カリキュラムツリー	
				SDGsと教育・保育	令和4年度開講せず	41	実務教員科目一覧・略歴	
				ダイバーシティと教育・保育	令和4年度開講せず			* 実務教員科目

教 養 科 目

授業科目名	生命倫理			教員名	渡邊 智寛		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング		3D105	
授業内容を示すキーワード	職業専門家と社会、社会的利益と自己決定権、生命の尊厳・生命の質、リプロダクティブライツ胎児の生存権、生殖補助医療、遺伝子操作、子どもの自己決定、脳死・臓器移植、安楽死、死を選択する権利						
授業の概要	生命が関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにとって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。社会に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 規範が複雑化し価値観が多様化した現代社会では、高度な倫理的判断力が求められます。機械的な対応に陥らず自ら思考し判断する力が欠かせません。専門的な知識を獲得したうえで、倫理的に思考し、判断し、応用する力を養成します。他人の意見を理解し尊重する態度も養います。</p> <p>【到達目標】 (1)生命倫理的諸問題を具体的かつ詳細に理解する。 (2)各学説の意味と目的を理解する。 (3)各問題に対し自分の意見を形成する。 (4)根拠・理由を示しつつその意見を的確に説明する。</p>						
授業の方法等	講義を中心に授業を展開していきます。一部、授業内で視聴覚教材も使用します。 ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業および自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、「ディスカッション」「グループワーク」を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔筆記〕60%</p> <p>■授業内課題〔リアクションペーパー、確認テスト等〕40%</p>						
教科書	なし(適宜資料を配布)						
参考書	適宜、教員が指示します。						
関連科目	子どもの保健						
質問受付の方法	講義前後の時間帯に、教室または講師控室にて。 bioethics.mn@gmail.com						
履修上の注意	普段から講義内容に関連するテレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けてください。家族や友人と話し合うことなども強く薦めます。						

授業計画 と 時間外学習	1	導入：倫理学とはなにか —倫理と道徳、倫理と社会 〈予習〉シバズ「キーワード」から3つ選択し、ネット情報を活用しその内容を簡単に把握する 90分 〈復習〉授業内容の整理・確認 90分
	2	生命倫理学とはなにか —生命倫理的諸問題、専門職と社会 〈予習〉初回授業で示されたテーマから3つ選択し、ネット情報を活用しその内容を簡単に把握する 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	3	人工妊娠中絶① —日本の現状、歴史的経緯、国際比較、関係法規 〈予習〉日本における中絶の歴史的経緯や現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	4	人工妊娠中絶② —生存権と選択権、優生思想と新優生思想、生殖と社会 〈予習〉中絶に関わる諸権利と優生思想の概要の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	5	生殖補助医療① —人工授精、体外受精、代理出産、望む子を得ること 〈予習〉生殖補助医療の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	6	生殖補助医療② —選択的出産、受精卵を用いた研究、技術が変える親子関係 〈予習〉生殖補助医療にまつわる倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	7	遺伝子操作① —子をデザインする、遺伝子エンハンスメント、遺伝子を買う 〈予習〉遺伝子操作技術の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	8	遺伝子操作② —遺伝子組み換え作物・動物、食を通じた世界支配 〈予習〉遺伝子操作技術がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	9	【オンデマンド(遠隔)】生命のはじまりに対する介入 —「健康な」「優秀な」子を望むこと 〈予習〉授業「人工妊娠中絶」「生殖補助医療」「遺伝子操作」の振り返り 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	10	脳死と臓器移植① —パーソン論、脳死と社会的死 〈予習〉脳死及び臓器移植の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	11	脳死と臓器移植② —判定基準の問題、臓器移植の新要件、脳死は死か 〈予習〉脳死・臓器移植がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	12	安楽死・尊厳死・治療停止① —安楽死・尊厳死とは、事例、安楽死許容条件 〈予習〉安楽死および尊厳死の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	13	安楽死・尊厳死・治療停止②—リヴィング・ウィルとDNAR、死の迎え方と社会 〈予習〉安楽死・尊厳死や死の自己決定がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	14	自律尊重・自己決定 —社会の利益と個人の権利、自己決定権とその限界 〈予習〉自己決定権が社会においてどのように受け入れられ、用いられているのかを確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	15	ケアという視点 —ケアとキュア、社会と弱者の関わり 〈予習〉「弱っている者」「死にゆく者」の社会的立場の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
定期試験	<p>◆定期試験〔筆記〕60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</p>	

授業科目名	コンピュータ演習			教員名	新井 誠		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕			ナンバリング	1D106		
授業内容を示すキーワード	コンピュータ・インターネット・セキュリティ・SNS・パワーポイント・ワード・エクセル						
授業の概要	コンピュータの使用方法和情報セキュリティについて学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 現代社会ではコンピュータを用いた情報活用能力が求められています。この能力は、情報の収集、整理、分析、表現に大きく分けることができます。これらの能力を演習により習得します。あわせてコンピュータを安全に活用する能力の習得を目指します。</p> <p>【到達目標】 この科目においては、これらの能力の基礎的な部分を習得することを目標とします。 具体的には次の4点です。 ・インターネットの利便性および危険性を踏まえて活用できること。 ・プレゼンテーションソフトを使って、説得力のあるプレゼンができること。 ・ワープロソフトを使って、図や表を取り込んだビジネス文書を作成できること。 ・表計算ソフトを使って、簡単なデータの加工ができること。</p>						
授業の方法等	コンピュータを一人一台ずつ使用し、演習(実技)を中心に実施。4テーマについて、各演習課題を印刷して提出します。 ICTを活用して2教室(208・201)に分散して双方向に演習を展開します。 事前に指定されたページ(プリント・教科書)を良く読み授業に臨んでください。 授業終了後は、課題シートに完成した日付を記入してファイルにまとめ保存をしてください。 事前学習・演習(説明を含む)・まとめは各90分とします。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記・実技〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物〔演習課題等〕30% 						
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミニマニュアルシリーズこれだけ！Office 2010」〔ISBN:978-4410702600〕 数研出版 数研出版編集部編 208室用(予習のページ) ・「ミニマニュアルシリーズこれだけ！Office 2019」〔ISBN:978-4410702723〕 数研出版 数研出版編集部編 201室用 						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	教育方法・技術論 ICT教育の理論と方法						
質問受付の方法	主に授業の前後に受け付けます。(出勤日であればいつでも遠慮なくどうぞ、可能な限り対応します)						
履修上の注意	演習データ保存用(講義中に指示)には、各自のUSBメモリーを使用します。(パソコンのハードディスク内には保存しないでください) 高等学校共通必修教科「情報」を習得済を前提として演習を進めます。 高校時代に使用した教科書(「情報の科学」or「社会と情報」)を併用します。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション (コンピュータを上手に使えるようになる) 〈予習〉高校時代の教科書で、習得した内容を振り返る。90分 〈復習〉配布資料の空欄をのノートに清書しファイルに綴じる。90分
	2	OS Microsoft Windows を使ってみよう。 〈予習〉高校時代の教科書で、OSの内容を振り返る。90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	3	インターネットの仕組みを理解して、安全にコンピュータを使うための方法を身につけよう。 〈予習〉教科書p156～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	4	パワーポイントを使ってプレゼンをしてみよう。 〈予習〉教科書p108～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	5	プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(1)パワーポイントを使ってみよう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	6	プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(2)パワーポイントの便利な機能を使おう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	7	プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(3)パワーポイントを使いこなそう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	8	作成した文書を、パワーポイント使ってプレゼンをしてみよう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	9	ワードを使って文書を作成してみよう。 〈予習〉教科書p16～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	10	ビジネス文書を作成してみよう。(1)ワードの便利な機能を使おう。 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	11	ビジネス文書を作成してみよう。(2)ワードのを使いこなそう。 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	12	ビジネス文書を作成してみよう。(3)ワードで「おたより」を作ろう。 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	13	表計算ソフトを使ってデータ処理をしてみよう。 〈予習〉教科書p66～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	14	エクセルの基本操作を使ってデータ処理をしよう。 〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	15	エクセルの便利な機能を使ってデータ処理をしよう。 〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔実技・筆記〕70分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕20分 	

授業科目名	キャリアアップセミナーⅠ			教員名	宇田川 和久 / 橋 和代 酒井 誠 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	1D107	
授業内容を示すキーワード	初年次教育、学力の3要素を基準とした入学前教育との連携、個人面談、保育に関する専門性、自己理解、体験						
授業の概要	学力の3要素を基準とした入学前教育との連携を念頭に、初年次教育として「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのスキル(専門技術)アップを目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心を同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術を定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができる。						
授業の方法等	行事や体験学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことがあります。 ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業を行い自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(キャリアアップの学習 30%、行事参加 20%、クラスゼミ活動 50%) 100%						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。 その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	子ども学演習Ⅱ、キャリアアップセミナーⅡ						
質問受付の方法	各担任、学習ゼミ担当に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学演習Ⅰ(第1時限)とキャリアアップセミナーⅠ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。 また、保育体験等は学外で行う演習です。						

授業計画 と 時間外学習	1	初年次教育ガイダンス 学力の3要素に関連して 〈予習〉シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
	2	初年次教育① レポートや論文の書き方、文章作法 / 面談 〈予習〉初年次教育の今回のテーマについて考える 45分 〈復習〉初年次教育の今回のテーマに関する学びをまとめる 45分
	3	初年次教育② プレゼンテーションやディスカッションなど口頭発表技法 / 面談 〈予習〉初年次教育の今回のテーマについて考える 45分 〈復習〉初年次教育の今回のテーマに関する学びをまとめる 45分
	4	学生総会・新入生歓迎会 (予習) 歓迎会行事についてイメージづくり 45分 (復習) 振り返り 45分
	5	初年次教育③ フィールドワークや調査研究の方法 / 面談 〈予習〉初年次教育の今回のテーマについて考える 45分 〈復習〉初年次教育の今回のテーマに関する学びをまとめる 45分
	6	保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)① 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	7	保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)② 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	8	保育体験Ⅱ(園見学)① 〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	9	保育体験Ⅱ(園見学)② 〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	10	初年次教育④ 学習習慣、時間・生活管理、モチベーション、使命感 / 面談 〈予習〉初年次教育の今回のテーマについて考える 45分 〈復習〉初年次教育の今回のテーマに関する学びをまとめる 45分
	11	クラスゼミ/キャリアサポート学習 〈予習〉キャリアサポート学習内容を理解し準備をする 45分 〈復習〉振り返り 45分
	12	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	13	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	14	山緑祭(学内) 〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	15	クラスゼミ 小川町七夕準備 〈予習〉小川町七夕祭の理解と準備の確認 45分 〈復習〉七夕準備の進捗状況の確認 45分
定期試験	◆定期試験は行いません。	

授業科目名	キャリアアップセミナーⅡ			教員名	宇田川 和久 / 橋 和代 酒井 誠 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	1D108	
授業内容を示すキーワード	学習ゼミ 少人数指導 保育に関する専門性 自己理解						
授業の概要	体験活動の他、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。また、埼玉県労働局の講座や認知症サポーター資格講座なども予定しています。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心を同じにするゼミの学習などを通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。</p> <p>【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術を定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができる。</p>						
授業の方法等	教育実習1週分を除く、14回(56時間)の授業を行います。 行事や体験学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことがあります。なお、学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年生合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式でディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワークを授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(キャリアアップの学習 30%、行事参加 20%、ゼミナール 50%) 100%						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。 その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	子ども学演習Ⅱ、キャリアアップセミナーⅠⅡ						
質問受付の方法	各担任、学習ゼミ担当に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学演習Ⅰ(第1時限)とキャリアアップセミナーⅠ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。 また、保育体験等は学外で行う演習です。						

授業計画 と 時間外学習	1	後期オリエンテーション、建学の精神表彰、防災避難訓練 〈予習〉後期の学習計画を立てる、防災避難訓練について考える 45分 〈復習〉後期の学習計画を確認する、防災避難訓練を振り返る 45分
	2	保育体験Ⅲ(施設見学) 〈予習〉施設見学の準備 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	3	里山保全体験学習[鳩山町石坂の森]事前学習 〈予習〉里山保全体験学習の目的・内容を理解する 45分 〈復習〉事前準備の確認 45分
	4	里山保全体験学習[鳩山町石坂の森] 〈予習〉里山保全体験学習(実地体験)の目的・内容を理解する 45分 〈復習〉里山体験学習(実地体験)の振り返り 45分
	5	埼玉県労働局講座(アルバイトの労働条件) 〈予習〉労働条件を理解し講座の目的・内容を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	6	実習報告会(1・2年生合同) 〈予習〉実習経験を振り返る 45分 〈復習〉報告会の見聞をまとめる 45分
	7	学習ゼミ① 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	8	Yamamura Juhla Juhla リハーサル 〈予習〉クラスとグループでの企画を考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	9	Yamamura Juhla Juhla (本番) 〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	10	学習ゼミ② 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	11	学習ゼミ④ 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	12	学習ゼミ⑥ 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	13	学習成果発表会 〈予習〉ゼミの発表の準備する 45分 〈復習〉ゼミの活動を振り返る 45分
	14	認知症サポーター講座 〈予習〉認知症サポーター講座を受講する目的・内容を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
定期試験	◆定期試験は行いません。	

授業科目名	保育入門			教員名	山村 穂高 酒井 誠 / 室井 佑美 楠原 竜也 / 巢立 佳宏		
配当年次	1	開講時期	半期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係					ナンバリング	4D111	
授業内容を示すキーワード	本短大と山村国際高校との連携科目。山村国際高校での授業内で実施。保育所での体験学習。						
授業の概要	<p>1 前半は、保育技術検定2級の筆記試験対策を行い、後半は、絵本の読み聞かせ、手遊び、造形、表現など現場での実践的な知識、技能を習得する。</p> <p>2 夏季休業中には、保育所などでの体験学習を行う予定。</p>						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>1 保育技術検定2級合格を目指し、言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の筆記試験で合格できるようにする。</p> <p>2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、造形の技術等の基本的な技能を身につける。</p> <p>3 保育所での体験学習を行い、保育現場の理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1 保育技術検定2級合格に必要な言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の知識を説明できる。</p> <p>2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形技術などの基本的な技能を実際に活用することができる。</p> <p>3 保育所での体験学習を通し、保育の現場の雰囲気を感じ、感じたことを言葉で表現することができる。</p>						
授業の方法等	山村国際高校での授業15回(100分×15回)と保育所での体験学習半日×3日間。						
成績評価の基準と方法	<p>■試験〔前期:筆記/後期:レポート〕 50%</p> <p>■授業への取り組み・態度 50%</p>						
教科書	適宜、必要な資料を配布します。						
参考書	適宜、必要な資料を配布します。						
関連科目	保育士養成に係る科目全般。						
質問受付の方法	授業時間中または授業前後で質問を受け付けます。						
履修上の注意	本短大に入学後、本学子ども学科の必要卒業単位数に単位を算入します。保育所での体験学習は本短大の近隣の園で実施する予定。山村国際高校との日程の調整により、内容の変更があるので注意すること。						

授業計画と時間外学習	1	オリエンテーション 〈予習〉なし。 〈復習〉作成したプリントで復習を行う。170分	9	保育実践—パーソナルスペースについて 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	2	造形表現技術基礎知識の習得① 色彩の基礎知識 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	10	保育実践—箱庭療法について 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	3	造形表現技術基礎知識の習得② 描画技法 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	11	保育実践—コミュニケーションについて 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	4	造形表現技術基礎知識の習得③ 絵の発達段階 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	12	保育実践—保育と心理学について 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	5	言語表現技術基礎知識の習得① 絵本、紙芝居の基礎知識、読み語り 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	13	保育実践—一体で表現することについて 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	6	言語表現技術基礎知識の習得② 色々な言葉遊び、シアター 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	14	保育実践—ダンスワークショップ I 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	7	言語表現技術基礎知識の習得③ 言葉の発達段階 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	15	保育実践—ダンスワークショップ II 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	8	それまでのまとめ、確認テストと体験学習準備 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分		
		体験学習 保育体験学習(近隣保育園にて) 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分		
		保育体験学習(近隣保育園にて) 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分		
定期試験	◆試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説〕30分		◆試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れて返却〕	

保育の本質・目的に関する科目

授業科目名	保育原理 *			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育原理〕					ナンバリング	1D201
授業内容を示すキーワード	保育所保育 養護 教育 思想 保育士 保育所保育指針 子ども・子育て支援新制度						
授業の概要	保育の意義、基本、方法など、保育の原理を学びます。さらに、日本・諸外国の保育の思想や歴史を知り、保育に関する法律、制度を把握し、現状と課題を理解します。そのうえで「保育とは何か」という保育の本質をとらえ、考えていきます。保育士として保育現場で勤務経験を有する実務家教員であることから、保育の現場における保育の視点、子どもや保護者の視点、地域の住民やその他の視点など、多角的に現状を伝え、保育の専門的知識に活かすことができます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士資格を取得するための必修科目です。保育士の専門性に関する根本原理を学びます。保育の本質を探究することで、保育者としての資質向上を目指す意欲を養います。 【到達目標】 (1) 保育所保育指針、保育内容与方法について説明できるようになる。 (2) 保育の思想や歴史の変遷をとらえ、現在の保育法制度や施策の背景と現状を説明できるようになる。 (3) 保育の意義を自分なりにとらえながら、現代社会における保育の諸課題について問題意識をもって、これから求められる保育の姿を考えていくことができる。						
授業の方法等	講義を中心に授業を展開していきます。一部、授業内で視聴覚教材も使用します。 ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業を行い自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/反転授業/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕45% ■授業への取り組み・態度 45% ■提出物 10%						
教科書	①「改訂新版保育用語辞典」(ISBN: 978-4863591899)/谷田貝公昭(編集代表)/一藝社 ②「保育所保育指針解説」(ISBN: 978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ③「幼稚園教育要領解説」(ISBN: 978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ④「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN: 978-4577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	保育・教職論 教育原理 子ども家庭福祉 保育内容総論						
質問受付の方法	適宜、授業内のコーネル式ノート、EduNaviのチャットなどで受け付けます。						
履修上の注意	毎回、授業内容はコーネル式ノートに書き込みます。配布資料については、2穴ファイルなどに整理し、学んだことをまとめておきましょう。事前に次回授業で学ぶ専門用語に付箋を付けるなどして、事前に知識を得ておきましょう。その他、法制度や施策については所轄省のホームページを参照するなどして、主体的に知識を得る学習習慣を身に付けてください。 やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNaviにて資料、課題の把握、授業内容の確認などして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション(保育原理の学習方法)、保育とは何か(理念と概念)
	1 <予習>初回のため、なし <復習>第1回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。180分
	2 「保育所」の法的・制度的位置づけ、最新の動向 <予習>第2回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第2回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	3 「幼稚園」の法的・制度的位置づけ、最新の動向 <予習>第3回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第3回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	4 「認定こども園」の法的・制度的位置づけ、最新の動向 <予習>第4回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第4回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	5 地域型保育事業(小規模保育・家庭的保育・事業所内保育・居宅訪問型保育)の制度的位置づけ <予習>第5回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第5回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	6 日本の保育施策の動向(子ども・子育て支援新制度を中心に) <予習>第6回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第6回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	7 諸外国における保育・教育思想と歴史の変遷 <予習>第7回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第7回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	8 日本における保育・教育思想と歴史の変遷 <予習>第8回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第8回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	9 多様な保育内容、保育方法(日本、諸外国も含めて) <予習>第9回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第9回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	10 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の変遷と構成、内容の詳細 <予習>第10回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第10回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	11 子育て支援・保護者支援(制度的位置づけ、支援機関や事業、保育者の役割) <予習>第11回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第11回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	12 子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)とPDCAサイクル <予習>第12回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第12回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	13 保育者としての資格・免許(保育士/幼稚園教諭/保育教諭等) <予習>第13回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第13回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	14 保育における現代的な課題と未来に対する展望 <予習>第14回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 <復習>第14回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
15 保育原理のまとめ <予習>第1～14回までのコーネル式ノート・専門用語を読み返す。60分 <復習>定期試験対策資料を作成する。120分	
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	子ども家庭福祉			教員名	橋本 淳一		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子ども家庭福祉〕				ナンバリング	1D203	
授業内容を示すキーワード	保育 保育所 子どもの人権擁護 子ども・子育て支援新制度 社会的養護						
授業の概要	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷、子どもの人権、子ども家庭福祉の制度や実施体系、地域子育て支援、子ども虐待・DV、社会的養護、次世代育成支援等子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望について学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 保育が福祉の一分野であることを理解し、保育、子ども・子育て支援を中心に、子どもや家庭に関する実情や制度について、福祉の観点から捉え直すことをめざす。</p> <p>【到達目標】 保育者に必要な子ども家庭福祉の意義や歴史の変遷、制度と法律、実施体系などを理解している。子育て支援、子ども虐待、障害のある子ども、社会的養護その他子どもと家庭をめぐるさまざまな問題を理解し、その対応を主体的に考えることができる。</p>						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。 また、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。 一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教科書	『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』[ISBN:978-825857854] 成清美治・吉弘淳一編著 学文社						
参考書	『保育者のための児童家庭福祉データブック2022』中央法規出版						
関連科目	社会福祉 社会的養護Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション～子ども家庭福祉の意義と保育～	
	1	〈予習〉テキスト第1章1・3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	2	子ども家庭福祉の現代的背景 〈予習〉テキスト第2章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	3	子どもの権利とそれを守る取り組み 〈予習〉テキスト第1章2・4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	4	子ども児童家庭福祉の歴史の変遷 〈予習〉テキスト第3章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	5	子ども家庭福祉の主要な法律 子ども家庭福祉の施設と専門職 〈予習〉テキスト第4章1を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	6	世界における子どもの権利の実情① 〈予習〉テキスト第2章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	7	世界における子どもの権利の実情② 〈予習〉前回プリントの読み返し 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	8	子ども家庭福祉の行政と実施機関 〈予習〉テキスト第4章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	9	子ども家庭福祉の施設と専門職 〈予習〉テキスト第5章2、第8章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	10	社会的養護の意味と施設 〈予習〉テキスト第3章1、第5章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	11	子ども家庭支援の展開～母子保健、子ども虐待・DV、貧困家庭・外国籍の子どもへの対応～ 〈予習〉テキスト第6章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	12	地域子育て支援と子ども・子育て支援新制度 〈予習〉テキスト第2章5、第6章8を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	13	障害のある子どもの福祉 〈予習〉テキスト第3章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	14	授業のまとめ 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
15	【オンデマンド(遠隔)】問題演習 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り、試験対策資料を作成する 90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	子ども家庭支援論			教員名	巢立 佳宏		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子ども家庭支援論〕				ナンバリング	1D205	
授業内容を示すキーワード	①子ども家庭支援の意義 ②家庭支援を取り巻く社会的状況 ③保護者支援(傾聴と信頼関係)とコミュニケーション力 ④関連機関との連携						
授業の概要	①心豊かな子どもの成長を促す家族の役割を理解します。 ②現在社会の中で取り巻く家庭の状況・問題や課題を意識します。 ③保育者としての支援方法や具体的ななかかり方を学びます。 ④子育て支援政策を理解し、地域の関係機関等のつながりを理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ①心豊かな子どもを育てる為に、保育者と保護者との信頼関係を築くことが、保育者として基本であることを自覚する。 ②信頼関係を築く具体的な事例を通して、支援方法を認識・実践する。 ③支援政策動向を理解し、地域の関係機関等のつながりを認識する。 【到達目標】 ①子育てに関する支援の意義・目的を理解する。 ②保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 ③子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 ④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。 ⑤子どもへの保育課題、保護者の支援方法を様々な事例を通して、解決方法を見いだすことができる。						
授業の方法等	ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕20%						
教科書	「子ども家庭支援論」(ISBN:978-7-8258-5785-4) 監修 児童育成協会 松原康雄 村田典子 南野奈津子編集 /中央法規						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	子ども家庭福祉 社会福祉 保育・教育相談の理論と方法						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。 また、EduNaviを通して適宜質問などを受け付けます。						
履修上の注意	遅刻・欠席はしないこと。配布されたプリントは各自自己管理をし、忘れず持参する。 EduNaviを活用するため、スマートフォン等を持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション(授業の流れ及び目標説明) 子ども家庭支援の意義と必要性 〈予習〉児童憲章・児童福祉法・保育所保育指針・幼稚園教育要領を調べる。90分 〈復習〉各学生が調べてきた法的根拠を振り返る。90分
	2	各種制度なかでの保育・子育て支援の位置づけと支援の目的及び機能 〈予習〉各種制度を調べる。 〈復習〉配布されたプリントを見返す。90分
	3	子ども家庭支援施策・次世代育成支援施策を支える社会の流れ 〈予習〉子ども支援関連用語を調べる。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	4	子ども家庭の福祉を支える社会資源(フォーマルサービス・インフォーマルサービス)の理解 〈予習〉子ども支援関連用語を確認する 90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	5	保育の専門性を活かした子ども家庭支援と意義 〈予習〉ソーシャルワークの役割を確認する。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	6	子どもの育ちの喜びの共有の意義 〈予習〉具体的なコミュニケーションを考える。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	7	保育士に求められる基本的態度(ハイステックの7原則) 〈予習〉リフレーミングを考える。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	8	保育士のコミュニケーション力を高める① ジェノグラムを使った子ども・保護者の関係性 〈予習〉配布された事例から子ども・保護者の姿を読み解く。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	9	保育士のコミュニケーション力を高める② 事例を通してジェノグラムを使った課題の分析と解決手法 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	10	保育士のコミュニケーション力を高める③ 文章コミュニケーション(園だより・連絡帳の書き方) 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	11	保育士のコミュニケーション力を高める④ 言語的コミュニケーション(リフレーミングを通じた助言の言葉)の実践 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	12	特別なニーズを持つ家族の姿と援助① 育てにくい子ども・障害のある子どもと親への対応 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	13	特別なニーズを持つ家族の姿と援助② 乳幼児の虐待種類・定義・症状 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	14	要保護児童及びその家庭に対する支援 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	15	世界の子育て支援と日本の子育て支援(世界の保育環境)、子ども家庭支援の今後の課題 〈予習〉世界の保育環境を調べる。90分 〈復習〉子どもの未来の責任と協力者であることを認識をする。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	社会的養護 I			教員名	巢立 佳宏		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修[社会的養護 I]				ナンバリング	1D206	
授業内容を示すキーワード	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護						
授業の概要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要とされる考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習得します。 【到達目標】 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 2. 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。 3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4. 社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。 5. 社会的養護の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業を及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/ディベート/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行います。 一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験[筆記] 50% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他[小テスト] 20%						
教科書	書名「新基本保育シリーズ⑥社会的養護 I」(ISBN:978-4-8058-5786-1) 相澤仁、林浩康 編、中央法規						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	社会的養護Ⅱ、子ども家庭福祉、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応します。 また、EduNaviを通して適宜質問などを受け付けます。						
履修上の注意	里親制度、児童虐待などに関し、日ごろからニュースや新聞記事などから情報収集し専門用語や記事に対する自身の考えをまとめ、社会的養護に対する理解を図るようにしてください。 EduNaviを利用しながら授業を進めるため、スマートフォンを持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	社会的養護の理念と概念	
	1	〈予習〉社会的養護に関する法令等を含め情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	社会的養護の歴史の変遷	
	2	〈予習〉社会的養護の歴史について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	子どもの人権擁護と社会的養護	
	3	〈予習〉子どもの人権に関する新聞記事等を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	社会的養護の基本原則	
	4	〈予習〉児童福祉法の改正に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	社会的養護における保育士等の倫理と責務	
	5	〈予習〉保育士の倫理綱領について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	社会的養護の制度と法体系	
	6	〈予習〉社会的養護の制度に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	社会的養護のしくみと実施体系	
	7	〈予習〉社会的養護の制度について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	社会的養護とファミリーソーシャルワーク	
8	〈予習〉ソーシャルワークに関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
社会的養護の対象と支援のあり方		
9	〈予習〉児童虐待に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
家庭養護と施設養護		
10	〈予習〉里親と施設養護の現状について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
社会的養護にかかわる専門職		
11	〈予習〉施設保育士に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
社会的養護に関する社会的状況		
12	〈予習〉「新しい社会的養育ビジョン」に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
施設等の運営管理の現状と課題		
13	〈予習〉社会的養護の施設等に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
被措置児童等の虐待防止の現状と課題		
14	〈予習〉情緒障害児短期治療施設等の情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
【オンデマンド(遠隔)】社会的養護と地域福祉の現状と課題		
15	〈予習〉地域福祉に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分	
定期試験	◆定期試験[筆記] 60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 30分	

授業科目名	インクルーシブ教育・保育Ⅰ			教員名	宇田川 和久		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に関する理解〕			ナンバリング	1D208		
授業内容を示すキーワード	共生社会、インクルーシブ教育システム、特別支援教育、障害特性、就学支援、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、特別支援教育コーディネーター						
授業の概要	インクルーシブ教育システムの理念である障害のあるなしにかかわらず共に学ぶことの重要性について学びます。 また、このシステムを構築するため、特別支援教育を推進する必要があることを学びます。 さらに、特別支援教育は、特殊教育の対象であった障害に加えLD、ADHD、高機能自閉症等も対象とし、子どもたち一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その持てる力を最大限に高めるための教育として今後極めて重要になることを障害に関する基礎的な知識や教育の現状や課題などを通して学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 障害者を取り巻く社会環境の変化を理解し、インクルーシブ教育システムの必要性とその在り方について考えます。その上で、特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子どもたちを支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システムの必要性について理解する。 (2)特別支援教育の理念や基礎的な体系を理解する。 (3)特別支援教育の指導・支援内容と実践方法を理解する。 (4)個に応じた指導・支援の方法について理解する。 (5)特別支援教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	基本は講義形式としますが、主体的な学びを進めるため、チームディスカッションやグループワーク等アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。また、障害のある子供たちの支援の在り方等の実際について理解を図るために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。 さらに、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行う予定です。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	「特別支援教育の基礎・基本新訂版」〔ISBN:978-4863715486〕 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所著 ジアース教育新社						
参考書	「特別支援学校学習指導要領」、「特別支援学校学習指導要領解説」、文部科学省ホームページ 文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のホームページにある資料						
関連科目	インクルーシブ教育・保育Ⅱ(特別支援教育)						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理して下さい。						

授業計画 と 時間外学習	1	障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システム 〈予習〉障害者について自分の関心のあることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	インクルーシブ教育システムの構築と特別支援教育 〈予習〉障害のある子どもたちに関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	3	特別支援教育の現状 〈予習〉特別支援教育に関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	4	視覚障害児及び聴覚障害児の理解と指導の実際 〈予習〉視覚障害や聴覚障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	5	肢体不自由児及び病弱児の理解と指導の実際 〈予習〉肢体不自由や病弱について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	6	知的障害児の理解と指導の実際 〈予習〉知的障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	7	発達障害の理解 〈予習〉発達障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	8	LD、ADHD児の理解 〈予習〉LD、ADHD児の特性について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	9	自閉症児の理解 〈予習〉自閉症児の特性について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	10	情緒障害児の理解 〈予習〉情緒障害とは何かについて調べる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	11	【オンデマンド型(遠隔)障害と就学支援 〈予習〉障害について考え、自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	12	特別支援学校における教育の実際 〈予習〉特別支援学校に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	13	特別支援学級における教育の実際 〈予習〉特別支援学級に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	14	通級による指導の実際 〈予習〉通級による指導に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	15	今後の特別支援教育の方向性 〈予習〉特別支援教育の意義等について自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の対象の理解に関する科目

授業科目名	保育の心理学 *			教員名	山村 穂高 / 巢立 佳宏		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修[保育の心理学] ○幼稚園教諭2種免許状必修[教育の基礎的理解に関する科目 / 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)]				ナンバリング	1D301	
授業内容を示すキーワード	子どもの発達理解、発達と保育実践、子ども親・保育観						
授業の概要	子どもの発達の基礎を学び、保育実践と関連付けながら理解します。子どもが自ら発達しようとする心理について理解し、それを捉えて支援する環境づくりや保育実践を考察します。現場経験のある教員が発達段階に応じた映像や事例を示しながら授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの発達に関わる心理学の基礎を知り、子ども理解を深め、初期経験の重要性を理解する。発達に応じた支援について考察する。 【到達目標】 子どもの発達過程、現代の子どもの発達支援の実践と課題について基礎的なことを理解し説明できる。						
授業の方法等	オムニバス方式で各教員が授業回を担当します。 テキストに沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていきます。 ICT(EduNavi)を活用した、双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験[筆記] 60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他[小テスト] 10%						
教科書	「子どもとかかわる人のための心理学」[ISBN:978-4893473691] 沼山博、三浦主博 萌文書林						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	乳児保育Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。 また、EduNaviを通して適宜質問などを受け付けます。						
履修上の注意	EduNavi利用するため、スマートフォンを持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	発達を踏まえた主体的学習及びそれを支える指導の基礎について [担当:山村] 〈予習〉教科書を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	2	幼児、児童及び生徒の学習に関する理論について [担当:山村] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	3	子どもの発達理解①(言葉のはじまり) [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	4	子どもの発達理解②(愛着、自己と他者) [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	5	子どもの発達理解③(自己抑制と自己主張) [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	6	子どもの発達理解④(心の理論) [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	7	子どもの発達理解⑤(遊びの変化) [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	8	子どもの発達に応じた保育援助①(乳児) [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	9	子どもの発達に応じた保育援助②(幼児) [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	10	異年齢集団による保育実践 [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	11	子どものアニミズム [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	12	子どもの想像力とは [担当:巢立] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	13	発達に支援を必要とする子ども [担当:山村] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	14	生涯発達と生きる力の生成 [担当:山村] 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	15	現代社会に育つ子どもの発達と支援 [担当:山村] 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
定期試験	◆定期試験[筆記] 60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 30分	

授業科目名	子どもの保健			教員名	田中 直代		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの保健〕				ナンバリング	1D304	
授業内容を示すキーワード	健康、母子健康手帳、スクヤモン、パーセントイル成長曲線、虐待、感染症、集団生活前健診						
授業の概要	子どもの保健は子どもの身体の健康を維持増進することを目的とした実践活動です。子どもは日々発育・発達していますが、先天的条件、養育や環境の条件を受けやすいです。子どもが順調な発育・発達をし、支障のない生活を送るためには大人や社会の適切な対応が必要となります。子どもの将来の健康状態を予測し、自立して健康に過ごせるよう保健的働きかけの重要性を学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態はその後の人生の健康や生活の基礎になります。子どもの心身の健康と保健の意義を理解し、身体発育、生理機能、運動機能の発達について学び、子どもの健康状態を観察し不調の早期発見に努め、子どもの病気や救急疾患、事故、アレルギーについて適切な予防法や危機管理、健康管理の必要性を理解します。一人一人の発育・発達を把握し保護者、他職種と情報共有することが重要であることを理解するために学びます</p> <p>【到達目標】 (1)子どもの心身の発育・発達に対する保健活動の意義を理解する。 (2)スクヤモンの器官別発育曲線について説明できる。 (3)子どもの心身の健康状態の把握すべき項目を挙げることができる。 (4)子どもの救急疾患の特徴とその対応を上げることができる。 (5)子どもの免疫の発達と感染症の特徴を上げることができる。 (6)保健活動が他職種間の連携・協働下での適切な対応が重要であることに気づく。</p>						
授業の方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントのスライドと配布プリントによる講義形式です。 ・テキスト中心に行います。子どもに関する医療や保健のニュースも取り入れます。 ・説明に物や図表を使います。図表の説明に色鉛筆があると理解が深まります。 ・やまたんテキストについて小テストがあります。 						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕90% ■授業への取り組み・態度〔ファイルノート点検〕10% 						
教科書	「子どもの保健テキスト」〔ISBN:978-4787825315〕 小林美由紀 診断と治療社						
参考書	「子どもの病気の地図帳」鴨下重彦・柳沢正義監修 講談社 「子どもの保健演習ブック」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房						
関連科目	子どもの健康と安全						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので遅刻・欠席をしないでください。教科書とファイルノートを随時使用します。配布したプリントはA4判2穴ファイルに学習ノート、ファイルノートとして整理と保存します。後日提出と点検があります。子どもの健康と安全の学習に使用します。						

授業計画 と 時間外学習	1	子どもの健康と保健 (1)保健活動の意義と目的 / 色鉛筆 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉P1「子どもの保健とは」P5「日本の保育所の歴史と保健活動」を読む。90分
	2	子どもの健康と保健 (2)子どもの出生と母子保健の意義 / 色鉛筆 〈予習〉P19「母子健康手帳の歴史」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	3	子どもの健康と保健 (3)現代社会における子どもの健康に関する現状と課題 / 色鉛筆 〈予習〉P22図1「出生数および合計特殊出生率の年次推移」からわかることを見出す。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	4	子どもの発育・発達と保健 (1)子どもの身体発育 〈予習〉P30「乳幼児の身体計測の仕方」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	5	子どもの発育・発達と保健 (2)子どもの運動機能の発達 〈予習〉P38「新生児の原始反射」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	6	子どもの発育・発達と保健 (3)生理機能の発達と生活習慣 〈予習〉P50「生活習慣の時代変化」を読む。次回ノート提出の準備。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	7	地域における保健活動と子どもの虐待防止 / 色鉛筆 〈予習〉P59「海外での子育て支援」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	8	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握 〈予習〉P62「子どもの健康状態の把握」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	9	子どもの病気 (1)子どもの免疫の発達と感染症の特徴 / 色鉛筆 〈予習〉P73「感染症の歴史」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	10	子どもの病気 (2)感染症の予防および適切な対応 / 色鉛筆 〈予習〉P76「感染経路と対策」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	11	子どもの病気 (3)救急疾患の特徴と適切な対応 〈予習〉P88表1「年度別・家庭用品などにおける子どもの誤飲事故述べ報告件数」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	12	子どもの病気 (4)新生児期の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応 〈予習〉P40「低出生体重児の発育」、P98「出生前診断の課題」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	13	子どもの病気 (5)アレルギー疾患の特徴と適切な対応 / DVD視聴 〈予習〉P103「食物アレルギーと離乳食開始の変遷」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	14	子どもの病気 (6)慢性疾患の特徴と適切な対応 〈予習〉P109「子どもの慢性疾患とは」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	15	保護者との情報共有と家族の支援 / まとめ 〈予習〉P126障害児や慢性疾患児への子ども同士の理解」を読む。90分 〈復習〉定期試験対策資料を作成する。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の内容・方法に関する科目

授業科目名	保育内容健康			教員名	橋 和代		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目／領域に関する専門的事項・健康〕				ナンバリング	1D403	
授業内容を示すキーワード	領域 健康						
授業の概要	領域「健康」について、乳幼児を取り巻く社会的状況や教育的課題を踏まえ上で、指導に必要となる基礎的知識や基礎的スキルを身に付ける。具体的には、乳幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達等において乳幼児期には大人と違った特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」の指導の基盤となる、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための専門的事項について、知識を技能を身に付けることができる。 【到達目標】 (1) 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 (2) 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。 (3) 安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。 (4) 乳幼児期の運動発達の特徴を意義を理解する。						
授業の方法等	講義と演習を併用して行います。 視聴覚教材の活用に加え、グループワークやディスカッションも取り入れながらすすめていきます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「演習 保育内容健康 大人から子どもへつなぐ健康の視点」[ISBN: 978-4893472090] 井狩芳子 萌文書林						
参考書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、 「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館						
関連科目	保育内容総論、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容言葉、保育内容表現 保育内容健康の指導法						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応する。						
履修上の注意	講義の記録、配布した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画 と 時間外学習	健康の定義と乳幼児期の健康の意義
	1 <予習>シラバスの熟読、教科書第1章を読む 45分 <復習>第1章を復習し、健康の定義について整理する 45分
	2 乳幼児期の身体にかかわる発達 <予習>教科書第2章を読む 45分 <復習>第2章を復習し、健康な子ども、元気な子どもの姿を整理する 45分
	3 乳幼児期の健康課題(乳幼児を取り巻く生活環境と健康) <予習>教科書第3章を読む 45分 <復習>第3章を復習し、乳幼児期の健康課題について整理する 45分
	4 乳幼児期の生活習慣の形成①(生活リズムの形成とその意義) <予習>教科書4章を読む 45分 <復習>第3章を復習し、生活リズムの形成とその意義について整理する 45分
	5 乳幼児期の情緒・社会性にかかわる発達 <予習>教科書第5・6章を読む 45分 <復習>第6章を復習し、情緒・社会性にかかわる発達について整理する 45分
	6 乳幼児期の感覚器官にかかわる発達 <予習>教科書第7章を読む 45分 <復習>第7章を復習し、感覚器官にかかわる発達について整理する 45分
	7 乳幼児期の運動発達の特徴 <予習>教科書第8章1・2・3を読む 45分 <復習>第8章1・2・3を復習し、運動発達の特徴を整理する 45分
	8 日常生活における運動 <予習>教科書第8章4・5及び第9章を読む 45分 <復習>第8章4・5及び第9章を復習し、運動発達の保障について整理する 45分
	9 乳幼児期の生活習慣の形成②(生活習慣の獲得) <予習>教科書第10章を読む 45分 <復習>第10章を復習し、生活習慣の獲得について整理する 45分
	10 幼児の安全教育と危険①(安全教育と安全管理) <予習>教科書第11章1・2を読む 45分 <復習>第11章1・2を復習し、安全教育と安全管理について整理する 45分
	11 幼児の安全教育と危険②(幼児期の怪我や事故の特徴と応急措置・病気の予防) <予習>教科書第11章3・4を読む 45分 <復習>第11章3・4を復習し、怪我や事故の特徴について整理する 45分
	12 幼児の安全教育と危険③(リスクの見極めとハザードの除去) <予習>教科書第12章を読む 45分 <復習>第12章を復習し、リスクの見極めとハザードの除去について整理する 45分
	13 遊びとしての運動 <予習>教科書第13章を読む 45分 <復習>第13章を復習し、遊びについて整理する 45分
	14 子どもの健康を支える協働 <予習>教科書第14章を読む 45分 <復習>第14章を復習し、子どもの健康を支える協働について整理する 45分
15 保育内容・健康のまとめ <予習>教科書第15章を読む 45分 <復習>第15章を復習し、配布プリントを完全に仕上げる 45分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績等返却時にコメントを入れて返却〕

授業科目名	保育内容人間関係			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・人間関係〕			ナンバリング	1D404		
授業内容を示すキーワード	領域 人間関係 就学前教育 育みたい資質・能力 発達 乳幼児の人と関わる力の育ち						
授業の概要	領域「人間関係」について学問的な背景や基盤となる考え方を学びます。人間関係の専門的視点を、より幅広く、より深く考えることを目指します。また、養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれ関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を修得します。乳幼児に対する就学前教育において、「何をどのように指導するか」という視点で、「何を」にあたる部分であり、主体的・対話的で深い学びから領域「人間関係」における専門的知識・技術を修得し、子どもの理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「人間関係」の指導の基礎となる、乳幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項について、知識と技能を養います。 【到達目標】 (1)乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を具体例を挙げながら理解できる。 (2)乳幼児期の人と関わる力の発達について、幼稚園・保育所・認定こども園での関係発達論的視点から理解し、概説できる。 (3)養護と教育において「人間関係」と五領域との関連性や相互性を具体例を挙げながら理解できる。						
授業の方法等	講義と演習を併用して行います。リアクションペーパーの作成を求め、自分の考えを持ち、意見をまとめることを多く行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【グループワーク/プレゼンテーション/ロールプレイ】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 35% ■提出物 35%						
教科書	①「〈領域〉人間関係ワークブック」(ISBN:978-4893472625)/田村美由紀・室井佑美著/萌文書林 ②「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ③「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ④「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	「改訂新版保育用語辞典」(ISBN:978-4863591899)/谷田貝公昭(編集代表)/一藝社 その他、授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	保育内容健康 保育内容環境 保育内容言葉 保育内容表現 保育内容人間関係の指導法 保育内容総論						
質問受付の方法	適宜、授業内のリアクションペーパー、EduNaviのチャットなどで受け付けます。						
履修上の注意	授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。 毎回、授業内容は配付プリントに書き込みます。なお、前期「保育内容人間関係」と後期「保育内容人間関係の指導法」は、1つのファイルに保存してください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNaviにて資料、課題の把握、授業内容の確認などとして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション、就学前教育の基本と保育内容の全体構造 〈予習〉初回のため、なし。 〈復習〉第1回の配付プリントをまとめる。誕生日壁面を製作する。90分
	2	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴と社会的背景 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第2回の配付プリントをまとめる。誕生日壁面を製作する。
	3	子どもの人と関わる力の発達①～0・1歳児～ 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第3回の配付プリントをまとめる。児童文化教材(六角返し)の制作を行う。60分
	4	子どもの人と関わる力の発達②～2・3歳児～ 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第4回の配付プリントをまとめる。児童文化教材(六角返し)のシナリオを作成する。60分
	5	子どもの人と関わる力の発達③～4・5歳児～ 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第5回の配付プリントをまとめる。児童文化教材(六角返し)の動画を撮影する。60分
	6	養護(生命の保持・情緒の安定)の実際と人間関係における保育者の役割 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第6回の配付プリントをまとめる。
	7	遊び・生活場面における人との関わりの実際①(子どもと保育者との関係と求められる役割) 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第7回の配付プリントをまとめる。児童文化教材(牛乳パックシアター)の制作を行う。60分
	8	遊び・生活場面における人との関わりの実際②(子ども同士の関係と保育者の求められる役割) 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第8回の配付プリントをまとめる。児童文化教材(牛乳パックシアター)の制作を行う。60分
	9	遊び・生活場面における人との関わりの実際③(クラス集団と個々の関わりと求められる役割) 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第9回の配付プリントをまとめる。児童文化教材(牛乳パックシアター)の練習をする。60分
	10	幼児期の自立心/協同性の育ちと発達の姿の実際 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第10回の配付プリントをまとめる。児童文化教材(牛乳パックシアター)の動画を撮影する。60分
	11	幼児期の道徳性・規範意識の芽生え/社会生活との関わりでの育ちと発達の姿の実際 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第11回の配付プリントをまとめる。お店屋さんごっこ(自分の作りたい教材)の制作を行う。60分
	12	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと発達の姿の実際 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第12回の配付プリントをまとめる。お店屋さんごっこ(自分の作りたい教材)の制作を行う。60分
	13	特別な配慮が必要な子どもの人との関わりでの育ちと求められる役割 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第13回の配付プリントをまとめる。お店屋さんごっこ(自分の作りたい教材)の制作を行う。60分
	14	小学校との円滑な接続におけるスタートカリキュラムと保育内容人間関係 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第14回の配付プリントをまとめる。お店屋さんごっこ(自分の作りたい教材)の制作を行う。60分
	15	保育内容人間関係のまとめ/保育内容人間関係の指導法に向けて 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第13回の配付プリントをまとめる。お店屋さんごっこの振り返りを行う。60分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔添削をして後日返却する〕	

授 業 科 目 名	保育内容環境			教 員 名	野口 一夫 / 高後 仁		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	前 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業・免 許・資 格 と の 関 係	○保育士資格必修[保育内容演習] ○幼稚園教諭2種免許状必修[領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・環境]			ナンバリング	1D405		
授 業 内 容 を 示 す キーワード	環境 幼保小の接続・連携 環境との出会い						
授 業 の 概 要	環境とは、領域「環境」とは、環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 幼児を取り巻くさまざまな環境や幼児と環境の関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付けることができる。 【到達目標】 環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、身近な環境との関りを具体的な生活事例(製作・遊ぶ活動)を通して体験的に学び、実践できるようにする。						
授 業 の 方 法 等	2名の教員で原則クラス分けて授業を行います。 具体的な体験・経験をフィールド学習(季節との出会い・動植物・自然遊び等)を通して、環境を広い意味や保育内容「環境」としての意味を理解し身に付けます。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験[筆記] 60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	適宜、資料を配付						
参 考 書	「生活事例からはじめる保育内容「環境」」青踏社 「環境・エコへの道標～幼稚園・保育園・学校・家庭へ～」雄文社 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関 連 科 目	保育内容(健康・人間関係・言葉・環境・表現)、保育内容総論、保育内容環境の指導法、保育・教職論、保育原理						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	レポートは毎回提出します。レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意してください。活動できる服装(スニーカー等)、色鉛筆を用意してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	環境とは 領域「環境」レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」[担当:野口] 〈予習〉レイチェル・カーソンについての調査 45分 〈復習〉領域「環境」の概要理解 45分
	2	環境を通して行う教育・保育の基本 原体験の重要性 [担当:高後] 〈予習〉教育・保育の基本調べ 45分 〈復習〉教育・保育の基本的理解 45分
	3	領域「環境」のねらいと内容 教育要領、保育指針、こども園教育・保育要領 [担当:野口] 〈予習〉教育要領、保育指針、こども園教育・保育要領調べ 45分 〈復習〉ねらいと内容の理解 45分
	4	身近な環境の構成 人的・物的・自然・社会 ナチュラル保育検定 [担当:高後] 〈予習〉身近な環境とは何かを調査 45分 〈復習〉身近な環境への理解 45分
	5	さまざまな環境との出会い ①季節との出会い 春・夏 [担当:野口] 〈予習〉春・夏の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分
	6	さまざまな環境との出会い ②身近な草花との出会い オオイヌノフグリ、ハルジオン等 [担当:高後] 〈予習〉家の周囲の野草調べ 45分 〈復習〉ファーム周辺の野草調べ 45分
	7	さまざまな環境との出会い ③野菜の栽培 ナス・シシトウ・ピーマン・サツマイモ等 [担当:高後] 〈予習〉身近な野菜の花と実調べ 45分 〈復習〉成長の観察 45分
	8	さまざまな環境との出会い ④野菜の栽培 花・実 [担当:高後] 〈予習〉その後の成長 45分 〈復習〉わき芽・除草・追肥等の効果的なやり方 45分
	9	さまざまな環境との出会い ⑤季節との出会い 秋・冬 クヌギとコナラ等 星座 雲 [担当:野口] 〈予習〉秋・冬の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分
	10	さまざまな環境との出会い ⑥動物(虫・鳥等) セミ、秋の虫、鳥の声 [担当:野口] 〈予習〉学内に棲むセミ・バッタ・鳥等の調査 45分 〈復習〉それぞれの特徴調べ 45分
	11	さまざまな環境との出会い ⑦遊び(自然・おもちゃ・昔の遊び等) ササ舟 [担当:高後] 〈予習〉昔の遊び調べ 45分 〈復習〉自然・おもちゃ・昔の遊び等再実践 45分
	12	保育内容「環境」の計画・評価と課題 長期、短期の指導計画 日案 週案 日誌 [担当:野口] 〈予習〉保育内容「環境」の計画 45分 〈復習〉評価と課題 45分
	13	小学校との接続・連携 生活科とのつながり 幼保小の連携 [担当:野口] 〈予習〉教育要領や保育指針から見られる連携 45分 〈復習〉幼保小の連携の重要性の理解 45分
	14	安全のための環境 事故・災害・不審者等 インクルーシブな保育 SDGs [担当:高後] 〈予習〉安全のための環境調べ 45分 〈復習〉事故・災害・不審者等への対応 45分
	15	振り返り アンケート [担当:野口/高後] 〈予習〉今までの学習の振り返り 45分 〈復習〉総復習 45分
定 期 試 験	◆定期試験[筆記] 60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 30分	

科目名	保育内容言葉			教員名	橘 和代 / 富田 久枝		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・言葉〕			ナンバリング	1D406		
授業内容を示すキーワード	5領域「言葉」 保育内容 言葉の発達と獲得 ことば遊び 児童文化財 文字と環境						
授業の概要	領域「言葉」で示されている乳幼児期の発達と言葉の獲得について学びます。そして、その学びを支える保育者の援助の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現法を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を学びます。「言葉」の意義と機能について理解し、乳幼児の言葉を育て、その言葉を獲得するために構成する環境や言葉に対する感覚を豊かにする保育教材を学び実践力を身に付けます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所保育指針で示されている領域「言葉」内容を理解し、乳幼児期の言葉の発達を理解する中で、保育者の役割や環境構成の重要性を理解して保育実践力を身に付ける。さらに、子どもの言葉を育む児童文化財や様々な言葉に関わる遊びを理解して、保育実践に必要な基礎的な知識を獲得する。 【到達目標】 ・乳幼児期の言葉の発達を理解し、その発達を促す保育所や保育者の役割への理解を深める。 ・実際の保育実践に必要な保育所保育指針の理解、指導案などのカリキュラム作成について専門的な知識を身に付ける。 ・児童文化財や文字などの言葉の発達に必要な環境について知り、実践力が身に付く。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。演習は必要に応じて記録レポートを課します。 児童文化財の理解については、グループワークでの実習・模擬保育も取り入れレポート等にまとめます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%(記録レポート、発表時の資料、講義ファイル等)						
教科書	○「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域「言葉」」(ISBN:978-4893472595)無藤隆監修、宮里朱実編/萌文書林 ○「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	「保育を豊かに 絵本でコミュニケーション」村中李衣 編著 かもがわ出版 2018 他、必要に応じて紹介します。						
関連科目	保育内容総論、保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容表現 保育内容言葉の指導法						
質問受付の方法	担当へ随時受け付けます						
履修上の注意	プリント類はA4版2穴ファイルに整理、保存します						

授業計画 と 時間外学習	1	保育内容「言葉」とは何か「乳幼児期の言葉のおもしろさ」[担当:橘/富田] 〈予習〉予定授業内容の該当箇所教科書を読む 90分 〈復習〉次回授業該当ページを読んでおく 90分
	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容「言葉」[担当:橘/富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 90分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	3	乳幼児期の発達と領域「言葉」[担当:橘/富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 90分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	4	子どもは言葉をどのように獲得するのか1「多様な感情体験とことば」[担当:橘/富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 90分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 90分
	5	子どもは言葉をどのように獲得するのか2「信頼関係から生み出されることば」[担当:橘/富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	6	子どもは言葉をどのように獲得するのか3「自分の考えや思いを伝えることば」[担当:橘/富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	7	ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方1「ごっこ遊びとことば」[担当:橘] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	8	ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方2「手遊び・なぞなぞ・オノマトペ」[担当:橘] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	9	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の意義(うた・わらべうたとことば)[担当:橘] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	10	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実際(紙芝居と絵本の世界)[担当:橘] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	11	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実践[担当:富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	12	文字に対する興味、関心をもつ経験[担当:富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	13	言葉の遅れがある子どもと保育内容[担当:富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	14	保育界の動向と「言葉」をめぐる今日的課題[担当:富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	15	保育内容「言葉」5領域との関係 まとめ[担当:橘/富田] 〈予習〉授業内配布プリントを読む 45分 〈復習〉定期試験、レポートの該当プリントと該当ページ教科書を読む 45分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れて成績発表時に返却する〕	

授業科目名	保育内容表現			教員名	福泉 博子 酒井 誠 / 楠原 竜也		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・表現〕			ナンバリング	1D407		
授業内容を示すキーワード	表現 感性 創造性 遊び 音楽表現 造形表現 身体表現						
授業の概要	保育内容領域「表現」に関して、乳幼児の表現やその過程について理解するとともに、乳幼児の感性や創造性を豊かに育む遊びや環境構成について学びます。また、表現について根源的に学ぶこと、自身の体験を通して経験することによって保育者としての感性を磨きます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の生活や遊びの中にある表現やその意義について理解し、また表現全般について広く体験的に学びながら自身の感性を磨くことによって、乳幼児の感性や創造性を引き出す構想力、知識、技能、表現力を身につける。 【到達目標】 (1)領域「表現」の概要を理解する。 (2)乳幼児の心性を理解し表現を受容的に受け止める視点を身につける。 (3)自身の感性や表現力を磨く。 (4)他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。 (5)基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。						
授業の方法等	教育実習1週間を除く、14回の授業をオムニバス形式で行います。 体験的な学びを中心に演習を行い、ワークシートを活用し学びの省察・自己評価を行いながら学びを進めます。また、視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法及びICTを積極的に用います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 50% ■提出物(ポートフォリオなどを含む) 20%						
教科書	授業にて適宜資料を配付します。						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容言葉、保育内容表現の指導法、 図画工作、音楽Ⅰ・Ⅱ、ナチュラルアート、ダンスムーブメント						
質問受付の方法	担当教員の研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業実施場所の変更や準備物、服装等については、各担当教員の指示をよく聞いてください。 【表現(音楽)】の授業内で使うオカリナを購入してもらいます。費用は1,000円程度です。詳細は授業内でお知らせします。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション 領域「表現-音楽・身体・造形」のねらい及び内容
	1 <予習>シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 45分 <復習>授業の振り返りと課題の整理 45分
	2 【おとさがし①】 色々な音を探そう〔担当:福泉〕 <予習>シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 45分 <復習>配布課題を仕上げる 45分
	3 【おとさがし②】 サウンドマップを作ろう 手作り楽器を作ろう〔担当:福泉〕 <予習>シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 45分 <復習>サウンドマップを仕上げる 45分
	4 【オカリナ制作と演奏①】 素焼きしてあるオカリナに絵付けをします〔担当:福泉〕 <予習>シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 45分 <復習>配布プリントを使って授業の振り返りをする 45分
	5 【オカリナ制作と演奏②】〔担当:福泉〕 <予習>シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 45分 <復習>配布プリントを使って授業の振り返りをする オカリナ演奏の練習をする 45分
	6 新聞紙あそび①身体を包んであそぶ『新聞ファッションショー』〔担当:酒井〕 <予習>シラバスや事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 <復習>ワークシートをまとめる。45分
	7 新聞紙あそび②新聞紙とビニールテープでものづくり『ビニールなものたち』〔担当:酒井〕 <予習>シラバスや事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 <復習>ワークシートをまとめる。45分
	8 大きなものを作ってあそぶ『巨大ビニールおぼけ』〔担当:酒井〕 <予習>シラバスや事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 <復習>ワークシートをまとめる。45分
	9 子どもの絵の発達段階を学ぶ-子どもの絵に現れる特徴を理解する-/アートの森をつくる『卒業生の木』〔担当:酒井〕 <予習>シラバスや事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 <復習>ワークシートをまとめる。45分
	10 領域「表現」のねらい及び内容〔担当:楠原〕 <予習>自分が乳幼児期におこなった表現あそびについて調べてくる。45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	11 表現と表出 ~表現をするためのコンディションづくり~〔担当:楠原〕 <予習>自分が乳幼児期におこなった表現あそびについて調べてくる。45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	12 感性 ~集中・感覚・身体~〔担当:楠原〕 <予習>「表現」について調べてくる。45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	13 表現あそび① ~集中・感覚・身体・感情・言葉・想像・知性・創造~〔担当:楠原〕 <予習>「感性」について調べてくる。45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
14 授業のまとめと振り返り <予習>各分野の資料やワークシートの見直し30分 <復習>授業の振り返りとワークシートの記入 60分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績発表時等に返却します〕

授業科目名	音楽Ⅰ			教員名	福泉 博子 数野 麻衣子 / 福士 紗希		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕				ナンバリング	1D408	
授業内容を示すキーワード	楽典 ソルフェージュ ピアノ 弾き歌い こどものうた 合唱 合奏						
授業の概要	保育者として必要となる音楽の基礎的な知識、技能の理解と習得を目指します。そのため、楽典や歌唱法、ソルフェージュに関する授業を行います。また、幼稚園、保育所等で行う合唱や合奏の授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1) 幼稚園や保育所などで歌う「こども・幼児のうた」の特性を学び、ピアノで弾き歌いをしながら幼児の指導ができる力を身につけます。 2) 音楽の基礎的な知識を習得し、読譜力を身につけます。 3) 合奏・合唱を楽しみながら、他者と協働する大切さを知るとともに、歌唱法や幼児が使う各種楽器の奏法を学び、保育者に必要とされる指導技術を身につけます。 【到達目標】 ①基本的な音楽の知識を学び、一人で読譜ができるようになります。 ②生活の歌や季節の歌の弾き歌いが出来るようになります。 ③楽器の奏法や歌唱方法を習得します。						
授業の方法等	音楽の基礎知識(楽典)に関する授業を行います。 生活のうたや季節のうたなどの弾き歌いをを行います。 グループワークにて合奏や合唱の授業を行います 定期試験は音楽の基礎知識(楽典)の筆記試験を行います。また、試験とは別に授業内で「あさのうた」「おべんとう」「おかえりのうた」の弾き歌い曲の見極めを行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■弾き歌い見極め20% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む)30% 						
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・【全員購入】「やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲」[ISBN:978-4405071391] 新星出版社 ・【全員購入】「ジュニアクラスの楽典問題集」[ISBN:978-4285121568] ドレミ楽譜出版社 ・2022年度入学生ピアノ特別講座楽譜集 						
参考書	「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100(チャイルド社) やまんテキスト						
関連科目	音楽Ⅱ ピアノⅠ ピアノⅡ 保育内容表現 保育内容表現の指導法						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	配付されたプリントはA4ノートに貼り、整理しておきましょう。 楽譜や教材は毎回必ず持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション 授業内容の説明 あそびうた 弾き歌い「あさのうた」 〈予習〉シラバスの内容確認 30分 〈復習〉あそびうたの練習 30分 あさのうた 片手練習 毎日20分程度
	2	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅰ 弾き歌い「あさのうた」 〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題集の「音名」を解く60分 「あさのうた」両手 毎日20分程度
	3	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅱ 弾きうたい「あさのうた」 〈予習〉なし 〈復習〉配付プリント問題 60分 あさの歌両手・歌唱練習 毎日20分
	4	譜表・音符・休符の理解Ⅰ 弾き歌い「あさのうた」※あさのうた見極め 〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題集の「音符・休符」を解く60分 あさの歌弾き歌い練習 毎日20分
	5	譜表・音符・休符の理解Ⅱ 発声法①・合唱をしようⅠ 〈予習〉なし 〈復習〉配付プリント問題 60分 あさのうた 暗譜弾き歌い練習 毎日30分
	6	拍子とリズムの理解Ⅰ 弾き歌い「おべんとう」発声法②・合唱をしようⅡ 〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題集の「拍子とリズム」を解く60分 おべんとう 片手練習 毎日30分
	7	拍子とリズムの理解Ⅱ 弾き歌い「おべんとう」・合唱をしようⅢ 〈予習〉なし 〈復習〉配付プリント問題 60分 おべんとう 両手練習 毎日30分
	8	変化記号の理解 調号と臨時記号 弾き歌い「おべんとう」※おべんとう見極め 〈予習〉なし 〈復習〉問題集「変化記号 調号と臨時記号」を解く60分 おかえりのうた両手・歌唱練習 毎日30分
	9	合唱をしようⅣ 合唱発表会 〈予習〉合唱曲の歌唱練習 毎日20分 〈復習〉1回目～8回目までの楽典の総合問題を解く90分
	10	反復記号・省略記号 弾き歌い「おかえりのうた」・合奏をしよう ドレミパイプ 〈予習〉なし 〈復習〉問題集の「反復記号・省略記号」を解く60分 おかえりのうた片手練習 毎日30分
	11	強弱 速度 発想記号 弾き歌い「おかえりのうた」・合奏をしよう ミュージックベル 〈予習〉なし 〈復習〉問題集の「強弱・速度・発想記号」を解く60分 おかえりのうた弾き歌い練習 毎日30分
	12	和音とコードネーム 弾き歌い「おかえりのうた」※おかえりのうた見極め 〈予習〉なし 〈復習〉配布楽譜に和音やコードを付け演奏する 90分 生活の歌3曲の弾き歌い練習 毎日30分
	13	合奏をしよう 器楽合奏Ⅰ 〈予習〉なし 〈復習〉担当楽器の譜読みと練習 90分 生活の歌3曲の弾き歌い練習 毎日30分
	14	合奏をしよう 器楽合奏Ⅱ 〈予習〉担当楽器の練習 60分 〈復習〉生活の歌3曲の弾き歌い練習 毎日30分 楽典問題集を解く90分
	15	合奏発表会 授業内容の振り返り 〈予習〉担当楽器の練習 90分 〈復習〉生活の歌3曲の弾き歌い練習 毎日30分 楽典問題集を解く90分
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授業科目名	音楽Ⅱ			教員名	福泉 博子 数野 麻衣子 / 大澤寺 俊平 / 中川 悠子 福士 紗希 / 町田 百合絵 / 宮尾 夕華		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕					ナンバリング	1D409
授業内容を示すキーワード	ピアノ 声楽 弾き歌い 個別学習 習熟度別学習						
授業の概要	保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法を学びます。ピアノ初級者から上級者まで、個々のレベルに合わせたレッスンをを行います。初級者はバイエルなどの教則本を使い初歩的技術の習得を、中・上級者はソナチネなど様々な楽曲を用いて総合的な音楽力を身につけます。また、声楽レッスンを行う事により、正しい発声法を習得し、明るく豊かな声で歌唱できるようにします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1)読譜力を身につけ、正しい運指法、打鍵法で演奏できるようにします。 2)正しい発声法を学び、明るく豊かな声でこどもの歌が歌唱できるようにします。 3)幼稚園・保育所等で歌う生活の歌季節の歌、子どもの歌を弾き歌いできるレベルを目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○初級者は「ピアノ・弾き歌い進捗表」の基礎Ⅰまでを、中級者は基礎Ⅲまでを、上級者はソナチネ・ソナタ・ブルグミュラーなどが演奏できる。 ○園で歌われる生活の歌や季節の歌、童謡などが弾き歌いができる。 ○各月の歌を各自のレベルに合わせた内容で1曲以上、合計12曲以上弾けるようにする。 ○正しい発声で、音量豊かに明るい響きのある声で歌唱することができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分を除く14回(56時間)の演習(実技)授業を行います。 ピアノの個人レッスンをを行います。個々のレベルに合わせた指導を行います。 定期試験はピアノと弾き歌いの実技試験を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔実技(ピアノ演奏40%・歌唱40%)〕80% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む)20%						
教科書	・全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ・ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) / ・ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) ・2022年度入学生 楽譜集(ピアノ・弾き歌い進捗表付き) ・やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参考書	「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100(チャイルド社) やまたんテキスト						
関連科目	音楽Ⅰ ピアノⅠ ピアノⅡ 保育内容表現 保育内容表現の指導法						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 配付プリントはA4ノートに貼り、整理しておきましょう。 楽譜や教材は毎回必ず持参してください。 また、音楽Ⅰで使用した【2021年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表】を持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉シラバスの内容確認 30分 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	2	2~13回は、学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスンと声楽レッスン(発声法・呼吸法、他)
	3	【初級者の教則本(バイエル)及び学習事項】 ○ピアノ進捗表 ・導入Ⅰ 右手・左手(ピアノ・弾き歌い進捗表参照) ・導入Ⅱ 左右の手の独立・各指の独立 ・導入Ⅲ カノン ・弾き歌い 生活の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	4	【初級・中級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・バイエル 基礎Ⅰ 分散和音の練習と重音の練習 ・弾き歌い 生活の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	5	【中級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・バイエル 基礎Ⅱ 新しい調とその練習 ・バイエル 基礎Ⅲ 複合問題 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	6	【中級・上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・バイエル 応用Ⅰ 曲の構成の把握と転調を含む曲 ・バイエル 応用Ⅱ 総復習 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	7	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	8	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	9	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	10	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	11	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	12	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	13	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	14	実技試験リハーサル 〈予習〉試験曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り 30分、試験曲の練習(歌唱練習含) 毎日15分程度
定期試験	◆定期試験〔実技〕80分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕10分	

授業科目名	図画工作			教員名	酒井 誠		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕				ナンバリング	1D410	
授業内容を示すキーワード	「基礎的な技法の習得」「身近な素材を使う」「素材の特性を知る」「安全性を考える」						
授業の概要	図画工作を行っていく過程で必要になる、技法・素材等の基礎知識を学びます。ものづくりの楽しさを理解するとともに、それを伝える力や、怪我等トラブル回避のための行動を学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 図画工作の技法・素材を習得する。身近にあるものを使って作ることを体験し、様々なものが、一手間加えるだけで、新たなものに生まれ変わる楽しさの理解を深める。ゆっくりと丁寧に、かつ安全に制作することができるようになる。</p> <p>【到達目標】 多くの技法・素材の知識を身に付けることによって、表現力の幅を広げ、制作に自分なりの工夫を凝らせるようになる。将来の指導者として制作の楽しさを子どもたちに伝えられるようになる。</p>						
授業の方法等	実技を主体とした授業です。毎回様々な授業展開をしますので出席が大切です。毎回の授業内容を作品とともにスケッチブックにまとめます。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■作品提出等25% ■授業へ取り組む姿勢と制作への態度 25% 						
教科書	プリントを配付する。講義には別途講義用プリントを配付する。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	保育内容表現、保育内容表現の指導法、ナチュラルアート						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	<p>1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。</p> <p>2.積極的な姿勢で授業に関わること。</p> <p>3.毎回の授業時に配付するプリントは、図画工作スケッチブックの巻末に添付すること</p> <p>4.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。</p>						

授業計画 と 時間外学習	1	ガイダンス・授業内容の説明 様々な技法を知る①/フロッタージュとコラーージュ-こすりだし技法と張り込み- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	2	様々な技法を知る②/デカルコマニー -偶然性を利用した色や形の表現- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	3	様々な技法を知る③/パチック・スクラッチ -クレヨンと絵の具の性質を知る- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	4	様々な技法を知る④/ステンシル・スパッターリング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	5	様々な技法を知る⑤/染め紙・マーブリング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	6	様々な技法を知る⑥/スタンピング・ローリング・ドリップング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	7	CDコマを作ろう① デザインを考える 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	8	CDコマを作ろう② 実際に遊んでみる 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	9	ほしをつくる①/デザイン決め～張り込み 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	10	ほしをつくる②/張り込み 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	11	ほしをつくる③/張り込み～装飾～完成 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	12	感覚スケッチ -視覚に頼らず、触覚だけでイメージして描く- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	13	なんちゃってステンドグラス① -普段よく見るものを別のものへ- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	14	なんちゃってステンドグラス② -普段よく見るものを別のものへ- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	15	なんちゃってステンドグラス③ -普段よく見るものを別のものへ- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授 業 科 目 名	幼児体育			教員名	楠原 竜也		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕				ナンバリング	1D411	
授業内容を示すキーワード	健康、発達、運動あそび、身体表現、環境、多様な動き、コミュニケーション						
授業の概要	乳幼児の運動あそびの意義を理解し、様々な運動あそびの援助法等について体験的に学びます。自分自身の身体性や表現力を高めます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 乳幼児の運動あそび、保育における展開についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性、表現力を向上をさせる。</p> <p>【到達目標】 ①乳幼児の運動あそびの意義について説明することができる。 ②様々な運動あそびを実践することができる。 ③保育の場面(遊び・活動・行事等)に合ったねらいや内容を理解している。 ④子どもの発達段階にあった援助、安全管理等、適切な配慮について主体的に考えることができる。 ⑤乳幼児を取り巻く現代的課題や、環境の重要性について主体的に考えることができる。 ⑥自らの身体性や表現力向上に対して積極的に努力することができる。</p>						
授業の方法等	乳幼児の運動あそびの方法や環境構成について、具体的な体験・経験のなかで身につけていきます。学びの省察・自己評価を行いながら学び進めます。また、視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法を積極的に用います。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔レポート〕30%</p> <p>■授業への取り組み・態度 50%</p> <p>■提出物 20%</p>						
教科書	「子どもの運動遊びバイブル [こにこ笑顔で楽しみながら運動の力もの伸びてゆく!] (ISBN: 978-4860154424) 香村恵介・八藤直樹・内藤謙・田中真紀 著 / みらい 2018						
参考書	授業にて適宜紹介します。						
関連科目	保育内容健康、保育内容表現、保育内容健康の指導法、保育内容表現の指導法、ダンスムーブメント						
質問受付の方法	適宜、研究室等にて受け付けます。						
履修上の注意	全身運動ができる服装(トレーニンウェア等が好ましい。デニム不可)で臨んでください。前髪等が気にならないように、髪の毛をまとめておいてください。素足でおこなうことが多いですが、靴を履く時もありますので、内履き、外履きをロッカーに準備してください。授業実施場所の変更や準備物については、教員の指示や掲示板等に注意してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	ガイダンス 授業の進め方など ※初回は更衣をせず、所定の場所に集合すること 〈予習〉自分が乳幼児期におこなった運動あそびについて調べてくる。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	2	身体表現あそび① 鬼あそび 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	3	身体表現あそび② ペア 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	4	身体表現あそび③ グループ 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	5	ものを使った運動あそび① 新聞紙 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	6	ものを使った運動あそび② マット 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	7	ものを使った運動あそび③ フープなど 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	8	ものを使った運動あそび④ サーキットあそび 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	9	ものを使った運動あそび⑤ サーキットあそびの立案 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	10	ものを使った運動あそび⑥ サーキットあそびの実践～前半グループ発表～ 〈予習〉グループで発表に向けての準備・練習をおこなう。45分 〈復習〉グループで発表の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	11	ものを使った運動あそび⑦ サーキットあそびの実践～後半グループ発表～ 〈予習〉グループで発表に向けての準備・練習をおこなう。45分 〈復習〉グループで発表の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	12	ものを使った運動あそび⑧ サーキットあそびの検証 〈予習〉グループで発表の振り返りをおこなう。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	13	幼児向けリズムダンス① 立案 〈予習〉授業該当部分の教科書や参考書を読む。45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	14	幼児向けリズムダンス② 実践～グループ発表～ 〈予習〉グループで発表に向けての準備・練習をおこなう。45分 〈復習〉グループで発表の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
	15	幼児向けリズムダンス③ 検証 まとめ 〈予習〉グループで発表の振り返りをおこなう。45分 〈復習〉授業全体の振り返りとフィードバックシートの記入。45分
定 期 試 験	<p>◆定期試験〔レポート〕</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔成績発表時に返却します〕</p>	

授 業 科 目 名	乳児保育 I			教 員 名	巢 立 佳 宏		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	前 期	単 位 数	2	授 業 形 態	講 義
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔乳児保育 I〕				ナンバリング	1D412	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	乳児保育の意義と役割、乳児の心身の発達、子育て支援						
授 業 の 概 要	乳幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、 1. 乳児保育の概要について知ります。 2. 乳幼児期の発達や生活に理解を深めます。 3. 乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 乳児保育に必要な知識や技能を様々な観点を通して学ぶ。 【到達目標】 乳児保育についての歴史、現状、課題について理解する。乳幼児の心身の発達について基礎的知識を身につける。乳児保育の内容や、園児・保護者に対するの援助の方法について知る。						
授 業 の 方 法 等	教科書に沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていきます。 また、グループワークにてロールプレイングを行います。 ICT (EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教 科 書	「はじめて学ぶ乳児保育」(ISBN: 9784810314731) 志村聡子 著 同文書院						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	乳児保育Ⅱ 保育の心理学						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。 また、学内の学習支援システムを通して適宜質問などを受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	EduNaviを利用するため、スマートフォン等を持参してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	乳児保育の社会的背景 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	2	乳児保育に関わる制度 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	3	保育所保育指針における「乳児保育」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	4	乳児保育の「ねらい及び内容」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	5	乳児の体の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	6	乳児の心の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	7	保育所等における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	8	乳児院等における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	保育の計画 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	10	保護者との連携 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	11	保育者同士の連携のあり方 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	12	乳児保育実践の基礎知識①(だっこ、おむつ替え等) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	13	乳児保育実践の基礎知識②(授乳、離乳等) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	14	乳児保育実践の基礎知識③(安全管理) 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	15	地域や関係機関との連携 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子どもの健康と安全			教 員 名	田中 直代		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	後 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業・免 許・資 格 と の 関 係	○保育士資格必修[子どもの健康と安全]				ナンバリング	1D414	
授 業 内 容 を 示 す キーワード	保健計画(健康管理、健康教育、環境衛生)、乳幼児身体成長曲線、窒息、むかえそで、暑さ指数、手洗い、危機管理、予防接種						
授 業 の 概 要	「子どもの保健」で学んだ知識や理論をもとに、子どもの健康及び安全を守る保健活動を学びます。新生児の身体測定、身体成長曲線による発育・発達の評価を理解します。子どもの生活習慣、発達援助と保健活動の意義を理解し、養護と教育の一体化した技術を修得します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態は、その後の人生の健康や生活の基礎となります。子どもの健康及び安全を守る保健活動は、保健計画(健康管理、健康教育、環境衛生)で日々の保育が展開されています。保健活動が計画的に全職員が参画、周知されることで、感染症、事故、災害などの危機状況に対応していくことを理解するために学びます。 【到達目標】 (1)保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 (2)関連するガイドラインや近年のデータに関心を持ち、保育における衛生管理・事故防止及び、安全対策・危機管理・災害対策、について具体的に理解する。 (3)健康及び安全にかかわる保健活動の計画・実施・評価を行う。 (4)個の健康と集団の保健の視野に立った対応や予測した保育を行う。 (5)保育が養護と教育を一体化すると、一人一人の子どもと応答的な触れ合いや言葉がけを楽しめることを理解する。						
授 業 の 方 法 等	・教育実習の1週間分を除く14回(56時間)の授業を行います。 ・授業は講義と演習をセットに進め、講義はパワーポイントのスライドと配付プリントによる講義形式、演習(内容、手順、実施、評価)はグループワークにて必ず各自が体験し、技術を身につけます。 ・演習は自己評価、他己評価を行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験[筆記]80% ■授業への取り組み・態度[ファイルノート点検]10% ■提出物[レポート]10%						
教 科 書	「子どもの健康と安全」(ISBN:978-4903355818) 中根淳子/佐藤直子編著 ななみ書房						
参 考 書	「子どもの健康と安全演習ノート」 小林美由紀 診断と治療社						
関 連 科 目	子どもの保健 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 乳児小児救命法 保育内容健康						
質 問 受 付 の 方 法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	保育士資格必修科目なので遅刻・欠席をしないでください。演習は動きやすい服装で受講します。「子どもの保健」を復習して授業に臨みます。配布資料は授業中に書き込みをし、A4版2穴ファイルに整理と保存します。後日、提出と点検があります。色鉛筆を使うので用意をしておきます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション、保健的視点を踏まえた保育環境及び援助 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉「保健計画、保健だより」に目を通す。45分	
	2	保育における健康及び安全の管理(1)衛生管理 〈予習〉P15～「屋内施設、屋外施設の衛生管理」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	3	保育における健康及び安全の管理(2)事故防止及び安全対策 〈予習〉P25～「保育中の事故、死亡原因」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	4	保育における健康及び安全の管理(3)危機管理・災害への備え 〈予習〉P29～「危機管理の意味と目的、災害への備え」を読む。45分 〈復習〉次回ノード提出の準備。45分
	5	子どもの体調不良に対する適切な対応(1)子どもに起こりやすい体調不良とケア 〈予習〉P38～「発熱」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	6	子どもの体調不良に対する適切な対応(2)子どもに起きやすい事故の応急処置 / 色鉛筆の使用 〈予習〉P54～「ショック、頭部打撲、熱傷、熱中症」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	7	子どもの体調不良に対する適切な対応(3)応急処置 〈予習〉P61～「異物の誤飲」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	8	感染症対策(1)集団発生の予防 〈予習〉P79～「感染症予防の基本」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	9	感染症対策(2)感染症発症時と罹患後の対応 / DVD 〈予習〉P84～「感染症発症時と罹患後の対応」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	10	保育における保健的対応(1)抱き方・背負い方 / 色鉛筆 〈予習〉P89～「抱き方・背負い方・寝かせ方」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	11	保育における保健的対応(2)排泄の世話、衣服・靴 / 色鉛筆 〈予習〉P95～「排泄の世話、衣服・靴」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	12	保育における保健的対応(3)歯みがき / 色鉛筆 〈予習〉P63「歯に強い保育士になろう」を読む。45分 〈復習〉歯みがき・染め出し後、プリント提出。45分
	13	保育における保健的対応(4)個別的な配慮を有する子どもへの対応 てんかん、アレルギー性疾患 DVD 〈予習〉P112～「てんかん、食物アレルギー」を読む。45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。45分
	14	健康及び安全の管理の実施体制 / まとめ 〈予習〉P123～「保育における保健活動の計画及び評価」を読む。45分 〈復習〉定期試験対策資料を作成する。90分
定 期 試 験	◆定期試験[筆記]60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分	

授 業 科 目 名	保育内容健康の指導法			教員名	橋 和代		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）〕				ナンバリング	1D418	
授業内容を示すキーワード	領域 健康 人間関係 就学前教育 育みたい資質・能力 発達 主体的・対話的で深い学び 保育の構想 ICT						
授業の概要	乳幼児の健康に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「健康」のねらいおよび内容について背景となる専門的知識と関連させて理解します。保育内容の各領域を総合的に捉え、保育の構想、計画、指導、実践、省察する力を習得します。特に乳幼児期に有効とされる様々な運動遊びの実践をとおして、必要な指導案の立案、教材や運動用具の選定、吟味による模擬保育の実施と保育技術の習得などを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」における指導法の実践を学び、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付けます。 【到達目標】 (1) 幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらいおよび内容を理解し、概説できる。 (2) 乳幼児期の発達や学びの過程を理解し、「健康」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけることが出来る。 (3) 健康に関する素材や教材についての特性を理解し、主体的に活用することが出来る。						
授業の方法等	教育実習1週分を除く、14回(56時間)の授業を行います。 演習と講義を併用して行います。アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション】などを適宜取り入れながら行います。 「健康」に関する遊びを取り入れた保育内容での模擬保育を実践し、振り返ります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
教科書	幼児のからだところを育てる運動遊び〔ISBN:978-4764411326〕 監修:出村真一 編集:宮口和義/杏林書院						
参考書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 その他、授業中に適宜紹介、資料を配布します。						
関連科目	保育内容健康 保育内容環境 保育内容総論 保育内容人間関係						
質問受付の方法	適宜、担当教員のオフィシアワー、EduNaviのチャットなどで受け付けます。						
履修上の注意	毎回、配布した資料は丁寧に整理、保存してください。 授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション、乳幼児のからだところについて	
	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分
	2	乳幼児期の子どもを取り巻く課題①(子どもの体力・運動能力の現状) 〈予習〉第1回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分
	3	乳幼児期の子どもを取り巻く課題②((乳幼児期の生活習慣と健康) 〈予習〉第2回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分
	4	乳幼児期の子どもを取り巻く課題③(家庭との連携と保育の連続性) 〈予習〉第3回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分
	5	危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動―その予防と対策について考える 〈予習〉第4回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉第5回のテーマに即した指導案を立案する 45分
	6	乳児期の身体を使った遊びの意義と専門性を持った関わり(走る・飛ぶ・登る・引っ張る) 〈予習〉第5回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉立案した指導案を修正する 45分
	7	五感を育てる生活と保育について(子どもの人権・プレーパーク紹介) 〈予習〉第6回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉第7回のテーマに即した指導案を立案する 45分
	8	やりたい気持ちを育てる運動遊び①(鬼ごっこ・ボール遊び:援助の視点と事例)etc. 〈予習〉第7回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分
	9	やりたい気持ちを育てる運動遊び②(縄跳び・ラダー運動:援助の視点と事例)etc. 〈予習〉第8回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分
	10	子どもの健康(からだところ)を育む保育の実践(集団遊び・わらべうた) 〈予習〉第9回で配布した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分
	11	子どもの健康を育む保育の実践計画①(遊びの選定と指導案の作成) 〈予習〉第10回で配布した資料を読み指導案の構想を立てる 45分 〈復習〉指導案の作成 45分
	12	子どもの健康を育む保育の実践計画②(模擬保育準備・グループ決めと打ち合わせ) 〈予習〉第11回で配布した資料を読む 30分 〈復習〉第12回のテーマに即した指導案の立案をする 60分
	13	子どもの健康を育む保育の実践計画③(模擬保育グループ発表) 〈予習〉第12回で配布した資料を読む 30分 〈復習〉立案した指導案を修正する 60分
14	子どもの健康を育む保育の実践計画④(模擬保育振り返り) 〈予習〉第13回で配布した資料を読む 30分 〈復習〉実施した指導案を評価する 60分	
定 期 試 験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績等返却時にコメントを入れて返却〕	

授業科目名	保育内容人間関係の指導法			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕				ナンバリング	1D419	
授業内容を示すキーワード	保育内容 領域 人間関係 就学前教育 発達 主体的・対話的で深い学び 保育の構想 指導方法 ICT						
授業の概要	保育の基本的構造と五領域との関連を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容について理解を深めます。乳幼児期の発達段階や子どもの興味・関心に即して、具体的な保育場面を想定した計画を立案、実施、評価、反省を通して保育展開における構想、指導法を修得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「人間関係」におけるねらい及び内容について理解し、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付けるため、指導方法の実践を学びます。 【到達目標】 (1) 保育の基本的構造と五領域との関連を踏まえて、「人間関係」のねらい及び内容を理解し、それぞれ概説できる。 (2) 乳幼児期の発達段階や子どもの興味・関心に即して、保育を構想する必要性を実践を通して体感する。 (3) 指導計画の構造を理解し、「人間関係」に関わる具体的な保育場面を想定した指導案の作成、実施、振り返り・評価を通して、保育を構想する方法を身に付ける。						
授業の方法等	教育実習1週分を除く、14回(56時間)の授業で演習・講義を合わせて行います。 学内行事Yamamura Juhla Juhlaへの参加をします。 そのため、アクティブラーニングの手法、【グループワーク/プレゼンテーション/模擬保育/フィールドワーク】を多岐に渡り取り入れ、授業内で行います。 一部、EduNavi等ICTを活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 60% ■提出物 10%						
教科書	①「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」(ISBN: 978-4805402993)/文部科学省/チャイルド本社 ②「幼児理解に基づいた評価」(ISBN: 978-4805402832)/文部科学省/チャイルド本社 ③「指導と評価に生かす記録」(ISBN: 978-4805403099)/文部科学省/チャイルド本社						
参考書	①「改訂新版保育用語辞典」(ISBN: 978-4863591899)/谷田貝公昭(編集代表)/一藝社 ②「保育所保育指針解説」(ISBN: 978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ③「幼稚園教育要領解説」(ISBN: 978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ④「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN: 978-4577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館 その他、授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	保育内容人間関係 保育内容総論 保育内容の指導法(健康/言葉/環境/表現)						
質問受付の方法	適宜、授業内のリアクションペーパー、EduNaviのチャットなどで受け付けます。						
履修上の注意	授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。 毎回、授業内容は配付プリントに書き込みます。なお、前期「保育内容人間関係」と後期「保育内容人間関係の指導法」は、1つのファイルに保存してください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNaviにて資料、課題の把握、授業内容の確認などとして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション、幼児教育(就学前教育)の基本/保育内容の全体構造と領域との関連 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開(第1章)を通読する。90分
	2	保育内容「人間関係」のねらい及び内容(3・4・5歳児が経験し身に付けていく内容/指導上の留意点) 〈予習〉幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開(第2章)を通読する。45分 〈復習〉第1・2回の配付プリントをまとめる 45分
	3	情報機器および教材の活用法(「人間関係」の特性/幼児の経験から)[担当:室井] 〈予習〉幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開(第3章)を通読する。45分 〈復習〉情報機器の活用から考えられる保育活動を考える。45分
	4	保育の構想の基本(指導計画の作成と保育の展開、幼児理解に基づいた評価) 〈予習〉幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開(第4章)を通読する。45分 〈復習〉第3・4回の配付プリントをまとめる 45分
	5	教材研究と指導計画の立案① 教材研究「身近な自然素材を使用した活動」(4・5歳児) 〈予習〉身近な自然素材を考え、集める。 〈復習〉自然素材を活用した活動のマインドマップを作成する。
	6	教材研究と指導計画の立案② 計画立案「身近な自然素材を使用した活動」(4・5歳児) 〈予習〉幼児理解に基づいた評価(第1章)を通読する。45分 〈復習〉子どもの実態に即した身近な自然素材を活用した活動の指導案を作成する。45分
	7	教材研究と指導計画の立案③ 模擬保育「身近な自然素材を使用した活動」(4・5歳児) 〈予習〉模擬保育に向けた事前準備を行う。45分 〈復習〉幼児理解に基づいた評価(第2章)を通読する。45分
	8	教材研究と指導計画の立案④ 振り返り・評価/改善(計画改善と環境の再構成) 〈予習〉模擬保育実践後の評価と改善案を作成する。45分 〈復習〉幼児理解に基づいた評価(第3章)を通読する。45分
	9	教材研究と指導計画の立案⑤ Yamamura Juhla Juhlaにおける保育の実践 〈予習〉Yamamura Juhla Juhlaにおける保育の実践に向けた事前準備を行う。45分 〈復習〉Yamamura Juhla Juhlaでの子どもの実際の姿を記録する。45分
	10	教材研究と指導計画の立案⑥ Yamamura Juhla Juhlaにおける保育の評価 〈予習〉指導と評価に生かす記録(はじめに)を通読する。45分 〈復習〉Yamamura Juhla Juhlaにおける自己評価を行い、まとめる。45分
	11	保育内容「人間関係」のねらい及び内容(1・2歳児が経験し身に付けていく内容/指導上の留意点) 〈予習〉指導と評価に生かす記録(第1章)を通読する。45分 〈復習〉ルールのある遊びを調べ、まとめる。45分
	12	「ルールのある遊び」教材研究/計画立案/模擬保育/振り返り・評価 〈予習〉子どもの実態に即した「ルールのある遊び」の指導案を作成する。 模擬保育に向けた事前準備を行う。45分 〈復習〉模擬保育実践後の評価と改善案を作成する。45分
	13	一日責任実習へ向けた指導計画作成①(登園～昼食まで)作成上の留意点、配慮事項 〈予習〉指導と評価に生かす記録(第2章)を通読する。45分 〈復習〉登園から昼食までの一日責任実習指導案を作成する。45分
	14	一日責任実習へ向けた指導計画作成②(午睡～降園まで)作成上の留意点、配慮事項 〈予習〉指導と評価に生かす記録(第3章)を通読する。45分 〈復習〉午睡から降園までの一日責任実習指導案を作成する。45分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック[添削をして後日返却する]	

授 業 科 目 名	保育内容言葉の指導法			教 員 名	橘 和 代 / 富 田 久 枝		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	後 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕				ナンバリング	1D421	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	乳幼児期 保育所 幼稚園 認定こども園 言葉の指導法 児童文化財 ことば遊び 保育所保育指針等						
授 業 の 概 要	幼児の言葉や表現に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解します。保育内容の各領域を総合的に捉え、構想、計画、指導、実践、省察する力を習得します。特に保育実践力として必要な指導案の立案、教材の選定・吟味、模擬保育の実施と保育技術の修得などを学びます。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 領域「言葉」のねらい及び内容について理解し、生活や遊びの中で乳幼児が身に付けていく内容や育ちを踏まえて具体的な保育を展開する方法を身につける。指導力を身に付けるための教材研究や模擬保育などを通して実践力を身に付ける。 【到達目標】 (1)乳幼児の心情、認識、思考や動きを視野に入れ、保育を展開し適切な援助ができる。 (2)言葉や表現について豊かな感性を養うための環境の構成と保育の展開について具体的に計画を立てることができる。 (3)素材や教材について特性を理解しそれらを活用することができる。						
授 業 の 方 法 等	教育実習1週分を除く、14回(56時間)の授業を教員2人体制でクラス分けの授業を展開します。 ICTを積極的に活用し、グループワーク・模擬保育などを取り入れます。 視聴覚教材はパネルシアターやペープサートを学生が自作して、模擬保育に使用します。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度(ポートフォリオなどの提出物を含む)70%						
教 科 書	○「言葉の指導法 改訂第2版」〔ISBN:978-4472405662〕大豆生田啓友・佐藤浩代/編著/玉川大学出版部 ○「保育所保育指針解説」〔ISBN:978-4577814482〕/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」〔ISBN:978-4577814475〕/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」〔ISBN:978-4577814499〕/内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参 考 書	「感じあう伝えあう ワークで学ぶ児童文化」村中李衣編著 金子書房 2015 「あそびから学びが生まれる動的環境デザイン」大豆生田啓友 学研教育みらい 2018 他、授業中に適宜紹介します。						
関 連 科 目	保育内容言葉 保育内容総論 保育内容の指導法(健康/人間関係/環境/表現)						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員の研究室などで受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	言葉の指導法とは(オリエンテーション) 演習:簡単なコミュニケーション〔担当:橘/富田〕 〈予習〉シラバスと指定教科書を読み、授業の概要を理解する 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	2	保育内容「言葉」とは何か〔担当:橘/富田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	3	あかちゃんからの「言葉」 言葉の発達とコミュニケーション〔担当:橘/富田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	4	遊びの中の豊かな言葉の経験〔担当:橘/富田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	5	豊かな経験を支える「ことば遊び」 カルタを作ろう〔担当:富田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	6	子どもの言葉を育む保育の実践、模擬保育の準備(絵本の読み聞かせ)〔担当:富田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	7	子どもの言葉を育む、模擬保育 指導案作成と教材作成 〔担当:富田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	8	子どもの言葉を育む、模擬保育1(視聴覚教材を使用した模擬保育 練習)〔担当:富田〕 〈予習〉教科書「表現の指導法」のはじめにを読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	9	子どもの言葉を育む、模擬保育2(視聴覚教材を使用した模擬保育 発表)〔担当:富田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	10	言葉に対する感覚や心を育てる素話・語り(昔話・民話・口演童話など)〔担当:橘〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	11	素話・語りの選択と原稿の作成〔担当:橘〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	12	素話・語りの実践 1. 練習〔担当:橘〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	13	素話・語りの実践 2. 発表〔担当:橘〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
	14	まとめ:子どもの言葉や表現を育み、豊かにする保育実践〔担当:橘〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配布したプリントを見返す 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック(成績発表時に返却します)	

授 業 科 目 名	子ども文化演習A			教員名	大島 靖史		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修				ナンバリング	1D423	
授業内容を示すキーワード	遊び歌(手遊び・ふれあい遊び・リズム表現など) 素材や身近にあるものを使った遊び						
授業の概要	<p>・「遊び歌・遊び」の楽しさ、指導の心構えや指導方法を実技を通して習得します。 また楽しいだけでなく、子どものどのようなところの成長を促していけるか年齢や発達に合わせて考えます。</p> <p>・身近なものをを使った遊びを通して、子どもたちの健やかな育みに繋がる活動を実践しながら共に考えます。</p>						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 乳幼児の特徴や発達を認識し、遊び歌や遊びをどのような場面、環境、指導方法で子どもたちと楽しみ合うことができるかを学び、保育での実践力を高めます。遊びの理解を深めながら、協力して楽しみ、学びます。</p> <p>【到達目標】 遊び歌や遊びを知り、指導法を体得した経験を保育実習や保育業務で自信を持って実践することができる。</p>						
授業の方法等	主に演習(実技)を中心に、講義も行います。 また、ペアでのディスカッションやグループワークを行い、その発表を行うことで具体的な体験・経験をし実践力を身に付けます。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔レポート〕40%</p> <p>■授業への取り組み・態度 40%</p> <p>■提出物 20%</p>						
教科書	「THE BEST 手あそび歌あそび」〔ISBN:978-4896223019〕 メイト その他、適宜資料配布します。						
参考書	あそび歌CD『スマイル×スマイル』／キッズスマイルカンパニー						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の指導法、保育・教職実践演習(幼稚園)						
質問受付の方法	授業開始前、授業終了後 随時受け付けます。						
履修上の注意	教科書と「遊びのプリント」などを配布するので保管できる 専用のファイル を用意してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション「自己紹介」「遊びとコミュニケーション」について 遊び歌の実践
	1 <予習>シラバスを見て授業内容を把握する。90分 <復習>教わった内容について振り返り、理解をする。90分
	2 身近にある物を使った遊びを紹介・実践(レジ袋遊び) <予習>子どもの発達や保育指針を理解する。90分 <復習>実践した内容を振り返る。90分
	3 身近にある物を使った遊びを紹介・実践(タオル・新聞紙遊び) <予習>子どもの発達や保育指針を理解する。90分 <復習>実践した内容を振り返る。90分
	4 遊び歌の実践「伝承遊び」など 保育での遊び実践のビデオ鑑賞 <予習>過去に教わったり、体験してきた手遊び、伝承遊びを振り返る。90分 <復習>授業で行った遊びを振り返り練習する。90分
	5 年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け①) <予習>教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 <復習>覚えた手遊びを反復練習する。90分
	6 年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け②) <予習>教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 <復習>覚えた手遊びを反復練習する。90分
	7 年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け③)／リズム表現 <予習>教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 <復習>覚えた手遊びを反復練習する。90分
	8 手遊びグループ発表 <予習>実技試験で行う手遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 <復習>発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
	9 絵本をグループ毎に読み合う・発表 <予習>様々な絵本があることを知る。90分 <復習>実践した内容を振り返る。90分
	10 年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(季節に合った手遊び・その他) <予習>教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 <復習>覚えた手遊びを反復練習する。90分
	11 手遊びからの発展【身体表現実践】 <予習>教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 <復習>手遊びからの発展的活動を振り返る。90分
	12 手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作】「グループ毎に分かれ、遊びを考える」練習 <予習>教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 <復習>実技試験で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分
	13 手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作】「グループ毎に発表する。遊びについて話し合う」(前半) <予習>実技試験で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 <復習>発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
	14 手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作】「グループ毎に発表する。遊びについて話し合う」(後半) <予習>実技試験で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 <復習>発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
15 授業のまとめ <予習>授業で配布された資料をまとめる。90分 <復習>実践に向けて自身の課題に取り組む。90分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績発表時にコメントを入れ返却します〕

教職に関する科目

授業科目名	教育方法・技術論			教員名	高後 仁 / 橋本 淳一		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/教育の方法及び「技術(情報機器及び教材の活用を含む)」						
授業内容を示すキーワード	遊びによる学び、環境による保育、子どもの主体性						
授業の概要	教育の方法及び技術に関する基本的な理論を学ぶ。また、幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。子どもが主体的かつ協働的に参加する学びとしての学校教育のあり方、特に幼児期の教育のあり方について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼児期の学びは子どもを主体として、環境や遊びなどの経験を通して育まれるものであるということを理解する。幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。 【到達目標】 様々な教育方法とその特徴を説明することができる。幼児期の特徴に応じた教育方法について説明できる。						
授業の方法等	オムニバス方式で各教員が授業回を担当する。 テキストに沿って、視聴覚教材により実践例などから理解を深める。 自身で考えた計画のプレゼンテーションを求めるなどアクティブ・ラーニングを取り入れて行う。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行う。一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行う。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「保育方法の探究」〔ISBN:978-4909655271〕 浅見均・田中正浩 大学図書出版						
参考書	「幼児教育の方法」小田豊・青井倫子 北大路書房 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	保育・教職論、保育・教職実践演習(幼稚園)						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室またはEduNaviで受け付けます。						
履修上の注意	EduNaviの操作に習熟するよう努めてください。						

授業計画 と 時間外学習	1	教育の方法、技術を学ぶ意義〔担当:橋本〕 〈予習〉自らの体験を振りかえり、教育の方法、技術を考える 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	2	児童中心主義保育の流れ〔担当:高後〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	3	環境を通しての学び〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	4	遊びを通しての学び〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	5	【オンデマンド型(遠隔)】指導計画・評価の理解、幼稚園教育要領について〔担当:橋本〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	6	子どもの主体性と教諭の意図〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	7	保育形態のタイプ(自由保育・斉保育・異年齢保育等)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	8	保育形態のタイプ(プロジェクト・アプローチ)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	保育形態のタイプ(モンテッソーリ教育)〔担当:高後〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	10	保育形態のタイプ(森のようちえん)〔担当:高後〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	11	保育における評価の方法〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	12	教諭の学びと成長〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	13	指導計画作成について〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	14	幼児教育におけるICTの活用①〔担当:橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	15	幼児教育におけるICTの活用②〔担当:橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育者の資質を高める科目

授業科目名	子ども学演習Ⅰ			教員名	宇田川 和久 / 橋 和代 酒井 誠 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	1D601	
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト効果測定、クラスゼミ、個人面談						
授業の概要	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方法、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、社会人・職業人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について実践的な活動を通して学ぶ。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、クラスゼミ学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。 【到達目標】 (1) 幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2) 保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3) 園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4) 基本的な生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。						
授業の方法等	行事や体験学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことがあります。 ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業を行い自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	必要な資料は適宜紹介します。						
関連科目	子ども学演習Ⅱ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	各担任に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学演習Ⅰ(第1時限)とキャリアアップセミナーⅠ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。 また、保育体験等は学外で行う演習です。						

授業計画 と 時間外学習	ガイダンス クラスゼミ(委員等の決定) UPI調査
	1 <予習>シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 <復習>学習計画をまとめる 45分
	サークル紹介 学内行事案内
	2 <予習>サークル、行事について考える 45分 <復習>振り返り 45分
	クラスゼミ、防災避難訓練
	3 <予習>防災避難訓練の意義を理解する 45分 <復習>ワークシートをまとめる 45分
	学生総会・新入生歓迎会
	4 (予習)歓迎会行事についてイメージづくり 45分 (復習)振り返り 45分
	保育体験事前学習
	5 (予習)保育体験について考える 45分 (復習)事前学習を踏まえ、保育体験準備の自己点検・評価 45分
	保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)①
	6 <予習>ふれあい体験のイメージづくり 45分 <復習>振り返りシートをまとめる 45分
	保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)②
	7 <予習>ふれあい体験のイメージづくり 45分 <復習>振り返りシートをまとめる 45分
	保育体験Ⅱ(園見学)①
8 <予習>園見学のイメージづくり 45分 <復習>見学記録をまとめる 45分	
保育体験Ⅱ(園見学)②	
9 <予習>園見学のイメージづくり 45分 <復習>見学記録をまとめる 45分	
ナチュラル保育検定、山短テキスト事前学習	
10 <予習>テキスト等を活用した事前学習 45分 <復習>事前学習の振り返り 45分	
ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定	
11 <予習>テキスト等を活用した事前学習 45分 <復習>検定、効果測定の振り返り 45分	
クラスゼミ(山緑祭準備)	
12 <予習>山緑祭準備の確認 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分	
クラスゼミ(山緑祭準備)	
13 <予習>山緑祭準備の確認 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分	
山緑祭(学内)	
14 <予習>山緑祭準備の確認 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分	
建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ、TDL事前準備	
15 <予習>体験学習の目的・内容を整理する 45分 <復習>体験学習の進め方を確認する 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。

授業科目名	子ども学演習Ⅱ			教員名	宇田川 和久 / 橋 和代 酒井 誠 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	1D602	
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト効果測定、クラスゼミ、個人面談						
授業の概要	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方法、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、社会人・職業人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について実践的な活動を通して学ぶ。里山保全体験では、NPO法人里山環境プロジェクト・はとやまの方の指導のもと、鳩山町(石坂の森)の里山保全について学ぶ。保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、クラスゼミ学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。 【到達目標】 (1) 幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2) 保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3) 園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4) 基本的な生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。						
授業の方法等	教育実習1週分を除く、14回(56時間)の授業を行います。 行事や体験学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことがあります。なお、学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式でディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワークを授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	必要な資料は適宜紹介します。						
関連科目	キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ 総合演習 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	各担任に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学演習Ⅱ(第1時限)とキャリアアップセミナーⅡ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。また、保育体験Ⅳとして、土日祝等を利用した地域のボランティアに参加する活動も必須となります。						

授業計画 と 時間外学習	後期オリエンテーション、建学の精神表彰、防災避難訓練
	1 <予習>後期の学習計画を立てる、防災避難訓練について考える 45分 <復習>後期の学習計画を確認する、防災避難訓練を振り返る 45分
	2 保育体験Ⅲ(施設見学) <予習>施設見学の準備 45分 <復習>見学記録をまとめる 45分
	3 里山保全体験学習[鳩山町石坂の森]事前学習 <予習>里山保全体験学習の目的・内容を理解する 45分 <復習>事前準備の確認 45分
	4 里山保全体験学習[鳩山町石坂の森] <予習>里山保全体験学習(実地体験)の目的・内容を理解する 45分 <復習>里山体験学習(実地体験)の振り返り 45分
	5 里山保全体験学習の振り返り[鳩山町石坂の森] <予習>里山保全体験学習を理解し振り返りの準備をする 45分 <復習>振り返り 45分
	6 実習報告会(1・2年合同) <予習>実習経験を振り返る 45分 <復習>報告会の見聞をまとめる 45分
	7 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習 <予習>テキストを使って試験対策をする 45分 <復習>ワークシートをまとめる 45分
	8 Yamamura Juhla Juhla リハーサル <予習>クラスとグループでの企画を考える 45分 <復習>クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	9 Yamamura Juhla Juhla (本番) <予習>クラスとグループでの準備を確認する 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	10 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定 <予習>テキスト等を活用した事前学習 45分 <復習>検定、効果測定の振り返り 45分
	11 学習ゼミ③ <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	12 学習ゼミ⑤ <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	13 学習成果発表会 <予習>ゼミの発表の準備する 45分 <復習>ゼミの活動を振り返る 45分
14 後期試験に向けて、建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ 学習ゼミ希望アンケート 等 <予習>1年次の学習を振り返り、2年次に向けての抱負を考える 45分 <復習>振り返りを確認する 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。

授業科目名	アウトドア演習A			教員名	高後 仁 / 去田 ゆかり		
配当年次	1・2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	3D606
授業内容を示すキーワード	自然・ネイチャーゲーム・五感・グループリーダー・いつでもだれでも						
授業の概要	ネイチャーゲームリーダーの資格取得を目指します。五感を使って自然物を探すビンゴゲームや落ち葉や木の実を使った活動を行いながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付けます。自然の美しさや面白さ不思議さなどを発見し、自然や他者への共感を持つことで命を大切にすることを学びます。また、実際に活動を体験するなかで、現場で使えるアクティビティや指導者としての心構えを習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所・幼稚園等で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、人や自然を深く愛し慈しむことのできる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。 【到達目標】 ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業の方法等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら楽しくフィールドワークを行います。一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 40%						
教科書	書名「アクティブラーニング実践書 体験と学びを深めるネイチャーゲーム」(ISBN:978-4-906937-04-2) 著者/出版社 日置光久・神長美津子監修 / (公社)日本シエアリングネイチャー協会 ※購入方法については授業時に指示する。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	アウトドア演習B						
質問受付の方法	授業の前後で行う。						
履修上の注意	学内での演習と講義を行います。フィールドワークでは教室外(構内)の活動になります。動きやすい身だしなみで参加してください。テキスト代及び資格取得に費用がかかる為、授業中に案内します。						

授業計画 と 時間外学習	1	ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム[担当:去田] 〈予習〉様々な動物の特徴や生態について調べておく 90分 〈復習〉プリントを読みまとめる 90分
	2	動物の特徴に気付くネイチャーゲーム[担当:去田] 〈予習〉自然界における「カモフラージュの事例」について調べておく 90分 〈復習〉個々の動物の生態についてまとめる 90分
	3	生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム[担当:去田] 〈予習〉人間の持つ五感について他の生き物との違いを調べておく 90分 〈復習〉動物の生きる知恵についてまとめる 90分
	4	観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念[担当:去田] 〈予習〉日本シエアリングネイチャー協会のホームページを見て、ネイチャーゲームの概要をつかむ 90分 〈復習〉ネイチャーゲームとは何かまとめておく 90分
	5	身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法[担当:去田] 〈予習〉野外活動時に起こりうる事故や事件について過去の事例を調べておく 90分 〈復習〉下見の重要性についてまとめておく 90分
	6	他の人の感性に気づくネイチャーゲーム、安全対策[担当:去田] 〈予習〉指導者として子どもの前に立った時の留意点についてまとめておく 90分 〈復習〉実践時の安全対策についてまとめておく 90分
	7	生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム指導員制度[担当:去田] 〈予習〉指導者の立場に立ち、実践時のシミュレーションを試してみる 90分 〈復習〉指導員の心構えをまとめておく 90分
	8	現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む[担当:去田] 〈予習〉現場で指導する際の留意点についてシミュレーションを試してみる 90分 〈復習〉アドバイスシートを読み指導法を振り返る 90分
	9	感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習[担当:去田] 〈予習〉ネイチャーゲームの理論をまとめる 90分 〈復習〉実践での活用場面を具体的に考える 90分
	10	全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる)[担当:去田] 〈予習〉体験を通してネイチャーゲームが育む子どもの力を考えておく 90分 〈復習〉ネイチャーゲームについてまとめる 90分
	11	【オンデマンド(遠隔)】自然講座 パート1 樹木[担当:高後] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の樹木について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	【オンデマンド(遠隔)】自然講座 パート2 草花[担当:高後] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の草花について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	【オンデマンド(遠隔)】自然講座 パート3 動物[担当:高後] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の動物について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	レクリエーション パート1 歌遊びゲーム[担当:高後] 〈予習〉前時に配布したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
	15	レクリエーション パート2 頭のゲーム[担当:高後] 〈予習〉前時に配布したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	ソーイング演習			教員名	成田 吾津子		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	1D608
授業内容を示すキーワード	建学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の建学の精神や歴史を理解し、学園のルーツである和裁を体験し自分の浴衣を製作します。 ・着付け、帯結び、着物着用時のマナー等を学習します。 ・幼稚への浴衣の着付け、へこ帯の結び方、肩揚げ、腰揚げの方法を学習します。 						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園のルーツに触れ、建学の精神を理解する。 ・実際に和裁に触れ、和の知識を体験する。 ・自分の浴衣を完成させ、着用することにより達成感と自信を身につける。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園の建学の精神、創立のルーツについて説明できる。 ・和裁の知恵が詰まった浴衣と製作方法を理解し、自分で浴衣を作ることができる。 ・子どもに浴衣を正しく着せることができる。 						
授業の方法等	講義と演習方式で行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物(浴衣完成) 50% ■その他[単元ごとのできばえ] 30% 						
教科書	和裁教本 ゆかた (著作者 山村学園創設者 山村 婦みよ先生) ※購入の方法については授業時に指示します。						
参考書	適宜、プリントを配布します。						
関連科目	子ども文化演習B						
質問受付の方法	授業中は勿論、授業前・後に理解ができるまで質問を受け付けます。						
履修上の注意	後期授業開始前に、浴衣地の販売とガイダンス(授業計画・教材の説明・用具の使い方)を行います。次年度に着付け・帯結び・ヘアースタイル・マナー指導等の補習を3回程度行います。必要な費用等がかかるためよく確認して下さい。						

授業計画 と 時間外学習	柄合わせ・裁断
	1 <予習>各部の名称を覚えること。20分 <復習>袖標付け、袖下袋縫いができるように柄合わせ・裁断を終わらせる。160分
	2 袖標付け・ミシンの使い方・アイロンの使い方・袖下袋縫い <予習>ミシンの使い方を理解し、練習する。20分 <復習>袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけに進めるようにする。160分
	3 袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけ <予習>三つ折りぐけの方法を調べる。20分 <復習>見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方に進めるようにする。160分
	4 見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方 <予習>きせのかけ方について調べる。20分 <復習>肩当て・居敷当てに進めるようにする。160分
	5 肩当て・居敷当ての縫い方(新モス使用) <予習>寸法通りにミシンがかけられるよう練習する。90分 <復習>肩当て付け・居敷当てに進めるようにする。90分
	6 肩当て付け・居敷当て付け <予習>耳ぐけ・折りぐけについて調べる。20分 <復習>衿標付け・衿襟下三つ折りぐけに進めるようにする。160分
	7 衿標付け・衿襟下三つ折りぐけ <予習>衿標付け・衿襟下三つ折りぐけを進める。90分 <復習>三つ折りぐけを完成させる。90分
	8 衿付け・衿付け始末 <予習>きせのかけ方について調べる。20分 <復習>衿付け・衿付け始末を終わらせる。160分
	9 襟標付け・共衿標付け・共衿付け <予習>本ぐけの方法を理解する。20分 <復習>襟標付け・共衿標付け・共衿付けを進める。160分
	10 衿付け(三つ衿芯の入れ方・待ち針の打ち方) <予習>棒衿・ばち衿・広衿の形を理解する。20分 <復習>衿付けを進める。160分
	11 衿(きせのかけ方)・衿先の始末・衿ぐけ <予習>ほんぐけの針の入れ方・出し方を調べる。20分 <復習>脇縫いに進めるようにする。160分
	12 脇縫い・脇縫い代の始末 <予習>きせをかけた後の、かくしじつけの方法を理解する。20分 <復習>脇縫い代の始末を進める。160分
	13 脇縫い始末 <予習>脇縫い代の始末を進める。90分 <復習>正しい耳ぐけの方法を、再度見直す。90分
	14 裾ぐけ(額縁の作り方) <予習>額縁の作り方について調べる。20分 <復習>裾の長さを確認する。160分
15 袖付け・袖付け始末・完成確認・仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方 <予習>かんぬき止め(6ヶ所)の方法を覚える。90分 <復習>仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方を練習する。90分	
定期試験	◆定期試験は行わない。

授 業 科 目 名	ナチュラルアート			教員名	酒井 誠		
配 当 年 次	1・2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング		3D609	
授業内容を示すキーワード	「自然を知る」「色彩の活用」「形状のデザイン」「素材の特性を知る」「技法を理解する」						
授業の概要	自然界には様々な色や形、質感があります。この講義では自然物を利用した作品制作を通して、様々な素材・技法の理解と応用力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 身近にあるものを使用し、様々な技法を用いて作品を制作することで個々の創作に対する方法の引き出しを広げ、指導を行う際にも適切かつ、イメージを沸かせる事のできる指導者を育成する。1年時に行った図画工作/保育内容表現(造形)よりも深く、専門的な知識を使用し、その技術を保育の現場に転用できないか考察する。</p> <p>【到達目標】 素材や道具それぞれに対する固定観念に囚われず、その場その場で目的にあった適切な表現ができるようになる。 素材や道具の臨機応変な扱い方を知り、確実に安全な造形ができる、また指導ができるようになる。</p>						
授業の方法等	教育実習3週分を除く、12回(合計48時間)の授業を講義と演習形式で行います。考え方や手順の説明の後、実際に制作していきます。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 35% ■提出物 15% 						
教科書	適宜、資料を配付						
参考書	適宜紹介、資料を配付						
関連科目	図画工作、保育内容表現、保育内容表現の指導法						
質問受付の方法	オフィスパワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	<p>1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。汚れを伴う作業を多々行います。</p> <p>2.積極的な姿勢で授業に関わる。集中して制作ができない、またはすぐ飽きてしまう方は履修を控えてください。</p> <p>3.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。</p>						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	ガイダンス/課題説明/フィールドワーク-作品制作素材の採取(押し花) 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	2	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作①/デザイン決め～張り込み作業 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	3	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作②/石膏流し込み作業 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	4	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作③/たまご型石膏割り～やし繊維張り 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	5	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作④/やし繊維貼り～押し花装飾 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	6	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作⑤/押し花装飾～完成 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	7	空想生物標本制作①/デザイン及び設定決め～必要素材の検討～フィールドワーク 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	8	空想生物標本制作②/作品組み立て 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	9	空想生物標本制作③/作品組み立て～完成 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	10	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習①/説明～実演～イメージ固め 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	11	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習②/フィールドワーク(素材調達)～作品制作 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	12	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習③/作品制作～大判作品共同制作 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉筆記試験課題の解答方法について検討する 70分
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授業科目名	ダンスムーブメント			教員名	楠原 竜也		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	3D610
授業内容を示すキーワード	身体性 表現 ダンス コミュニケーション インプロヴィゼーション 創作 発表						
授業の概要	身体表現についての発展科目です。テーマに沿ってインプロヴィゼーション(即興)を行ない、そこから生まれた動きを構成し、ダンス作品がどのようにできあがるのか、実践を通して学びます。最終的には、ソロやデュオ、グループ作品へと発展させていきます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>ダンス文化に関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①身体表現についての文化的教養を身につけることができる。 ②自身の表現経験を積み重ね、子どもたちとの表現活動に対する身体知・応用力を身につけることができる。 ③身体性と表現力を向上することができる。</p>						
授業の方法等	教育実習1週分を除く、14回(合計56時間)の授業を行います。実技、講義、グループワークを併用して展開します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験[レポート] 20% ■授業への取り組み・態度 50% ■その他[授業内発表] 30%						
教科書	特に使用しない。						
参考書	授業にて適宜紹介します。						
関連科目	幼児体育・保育内容表現・言葉と表現の指導法・子ども文化演習B						
質問受付の方法	適宜、研究室等にて受け付けます。						
履修上の注意	日常から身体表現や音楽表現に興味を持って、音楽・映像鑑賞、パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会をつくってください。日常から身体を動かす習慣を身につけてください。全身運動ができる服装(トレーニングウェア等が好ましい。デニム不可)で臨んでください。前髪等が気にならないように、髪の毛をまとめておいてください。素足で臨んでください。授業実施場所の変更や準備物については、教員の指示や掲示板等に注意してください。						

授業計画 と 時間外学習	ガイダンス 授業の進め方など ※初回は更衣をせず、所定の場所に集合すること
	1 <予習>ダンスについて調べる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	ダンス・コミュニケーション① ペア
	2 <予習>ダンス・コミュニケーションについて調べる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	ダンス・コミュニケーション② トリオ
	3 <予習>ダンス・コミュニケーションについて調べる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	ダンス・コミュニケーション③ グループ
	4 <予習>ダンス・コミュニケーションについて調べる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	創作① ボディ(身体)・アクション(動き)
	5 <予習>ボディ(身体)・アクション(動き)について調べる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	創作② ダイナミクス(時間性・力性)
	6 <予習>ダイナミクス(時間性・力性)について調べる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	創作③ スペース(空間性)
	7 <予習>スペース(空間性)について調べる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
創作④ リレーションシップ(関係性-デュオ創作-)	
8 <予習>リレーションシップ(関係性-デュオ-)について調べてくる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑤ リレーションシップ(関係性-デュオ発表-)	
9 <予習>次回授業に向けた練習・創作(デュオ) 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑥ リレーションシップ(関係性-グループ創作-)	
10 <予習>リレーションシップ(関係性-グループ-)について調べてくる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑦ リレーションシップ(関係性-グループ発表-)	
11 <予習>リレーションシップ(関係性-グループ-)について調べてくる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑧ 造形からのアプローチ(ソロ)	
12 <予習>課題について調べてくる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑨ 造形からのアプローチ(グループ)	
13 <予習>課題について調べてくる 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
まとめ トライアル	
14 <予習>創作したピース(作品)の練習 45分 <復習>授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
定期試験	◆定期試験[レポート] ◆振り返り・フィードバック[成績発表時等に返却]

実 習 科 目

授業科目名	実習指導Ⅰ			教員名	橋本 淳一 宇田川 和久 / 巢立 佳宏 橋 和代 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習指導Ⅱ〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕				ナンバリング	1D701	
授業内容を示すキーワード	教育実習Ⅰ 幼稚園 幼児						
授業の概要	主として「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の事前・事後指導として、実習準備から実習終了に至る細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、実習に必要な態度、基礎的な知識や技術、たとえば観察のポイントや子どもとのかかわり方から、幼稚園におけるより実践的な指導法や指導計画の立て方や指導案の書き方までを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 主として教育実習Ⅰ・Ⅱを円滑に行うため、「記録」することを中心にして必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 特に事前指導では、実習生として幼稚園の教育活動に参画するする意識を高め、取得すべき知識や技能等について知り、実習の意義を理解する。 【到達目標】 保育者であることを自覚し、基本的な実習態度を習得している。保育場面の適切な観察を行うことができる。観察をもとに振り返り・評価までの必要十分な実習日誌を作成できる。幼児の発達等をふまえて保育実践にも参与できる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教科書	・「実習ガイドブック」山村学園短期大学 ・「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」[ISBN: 978-4893472397] 神永直美著 萌文書林						
参考書	・「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 ・「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	教育実習Ⅰ・Ⅱ 実習指導Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは原則他の曜日と時間を設定して下さい。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション～実習科目の概略と実習スケジュールの説明	
	1	〈予習〉学生便覧・実習関係を下読み 45分 〈復習〉テキスト第1章1-4を読み返し理解を定着 45分
	2	幼稚園と幼稚園教育実習について、実習の意義と実習生の心構え 〈予習〉テキスト第2章3を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	3	子どもの姿と子どもとのかかわり方①（保育場面のビデオ教材から） 〈予習〉テキスト第2章1.2.3を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	4	子どもの姿と子どもとのかかわり方②（保育場面のビデオ教材から） 〈予習〉テキスト第2章1.2.3を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	5	保育体験Ⅰの準備（態度、マナー、体験の仕方・観点） 〈予習〉テキスト第1章7、第2章3を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	6	保育体験Ⅰの振り返り①／幼稚園と保育所に焦点をあてて 〈予習〉テキスト第3章1、第4章1を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	7	保育体験Ⅰの振り返り②／幼稚園教諭と保育士に焦点をあてて 〈予習〉テキスト第3章1、第4章1を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	8	保育体験Ⅱ（幼稚園・保育園見学）の準備（態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	9	保育体験Ⅱ（幼稚園・保育園見学）の振り返り①（学生の記録と園の日報をもとに） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 45分 〈復習〉見学記録を作成し、書き方を習得する 45分
	10	保育体験Ⅱ（幼稚園・保育園見学）の振り返り②（学生の記録と園の日報をもとに） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 45分 〈復習〉見学記録を作成し、書き方を習得する 45分
	11	保育実践ボランティアのねらいと進め方 〈予習〉テキスト第4章5を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	12	実習日誌の書き方① 実習の進め方と実習目標・課題、実習計画の立て方 〈予習〉テキスト第2章4を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	13	実習日誌の書き方② 一日の流れと環境構成 〈予習〉テキスト第2章5を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	14	実習日誌の書き方③ 子どもの活動と保育者の援助、一日の振り返り 〈予習〉テキスト第2章5を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
15	教育実習Ⅰ・保育実践ボランティアへ向けての準備の確認、オリエンテーションの受け方 〈予習〉テキスト第1章6.7を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れ成績発表時に返却します〕	

授業科目名	実習指導Ⅱ			教員名	橋本 淳一 宇田川 和久 / 巢立 佳宏 橋 和代 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習指導Ⅰ〕				ナンバリング	1D702	
授業内容を示すキーワード	保育所 乳幼児 保育実習Ⅰ 児童福祉施設等 施設実習Ⅰ						
授業の概要	主として「保育実習Ⅰ」及び「施設実習Ⅰ」の事前・事後指導として実習手続きの細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、保育所や児童福祉施設の機能やそこでの保育や養護、援助の実際、保育者の職務や必要とされる子どもや利用者とのかわり方、実習における観察・記録・評価、実習計画、さらに子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務などを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 主として保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰを円滑に行うため、実習の意義・目的を理解した上で、「計画を立てて保育実践すること」を中心に、必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 【到達目標】 保育者としての役割行動(言葉遣いや立居振舞)を取得し、自分で保育計画・指導案を作成して部分・責任実習等で適切な保育実践ができる。実習を総括し、自己評価し、課題の明確化ができる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔課題・発表〕50% 						
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習ガイドブック」山村学園短期大学 ・「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」[ISBN: 978-4893472397] 神永直美著 萌文書林 						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 ・「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅲ 教育実習Ⅰ 保育実習Ⅰ 施設実習Ⅰ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは原則他の曜日と時間に設定して下さい。						

授業計画と時間外学習	1	保育実践ボランティアの振り返り、教育実習Ⅰの事前準備から実習終了までの手続きの確認 日誌の書き方・事前記入編(①オリエンテーションの記録、②園の記録、③目標・課題、④実習計画) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉日誌の書き方・事前記入の理解と定着 90分
	2	日誌の書き方①(園の一日の流れと実習生の役割に着目した記述) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉園の一日の流れと実習生の役割に着目した記述の理解と定着 90分
	3	日誌の書き方②(保育者の援助やこどもの発達に着目した考察) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉保育者の援助や子どもの発達に着目した考察の理解と定着 90分
	4	部分実習の考え方・進め方とその準備①(絵本・紙芝居他) 〈予習〉関連配布物とテキスト付録4を読む 90分 〈復習〉絵本・紙芝居の読み聞かせ練習 90分
	5	教育実習Ⅰ直前指導(求められる態度、知識、技能の確認) 〈予習〉関連配布物とテキスト第1章7を読む 90分 〈復習〉求められる態度、知識、技能の確認 90分
	6	教育実習Ⅰの振り返り、保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの事前準備とオリエンテーションまでの手続き確認、施設見学の準備(態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方) 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章2を読む 90分 〈復習〉施設見学の準備の理解と定着 90分
	7	施設実習の特色と施設実習のねらい、施設実習のスケジュール 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章1を読む 90分 〈復習〉施設実習の目的と内容の理解と定着 90分
	8	施設の種類と実習施設の概要の理解 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章2を読む 90分 〈復習〉施設実習の施設・概要の理解と定着 90分
	9	施設実習における実習生の目標・課題 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章4を読む 90分 〈復習〉施設実習の目標・課題理解と定着 90分
	10	施設実習の日誌の書き方、考え方 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章6を読む 90分 〈復習〉施設実習の日誌の書き方の理解と定着 90分
	11	施設と施設実習の実際(ケーススタディ) 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章7を読む 90分 〈復習〉施設実習のケーススタディの理解と定着 90分
	12	保育所保育の特色と保育実習Ⅰのねらい、実習目標・課題の立て方 〈予習〉関連配布物とテキスト第4章1.2.3.4を読む 90分 〈復習〉保育実習の特色の理解と定着 90分
	13	部分実習の考え方・進め方②(含、ロールプレイ) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章6を読む 90分 〈復習〉部分実習の考え方の理解と定着 90分
	14	部分実習の考え方・進め方③(含、ロールプレイ) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章6を読む 90分 〈復習〉部分実習の進め方の理解と定着 90分
	15	保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰ 実習の進め方、実習日誌の書き方のまとめ 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章2.5.6を読む 90分 〈復習〉保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの理解と定着 90分
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れ成績発表時に返却します〕 	

授業科目名	保育実習Ⅰ*			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅰ〕				ナンバリング	1D704	
授業内容を示すキーワード	保育所 見学・観察実習 参加実習 部分実習 保育実践ボランティア						
授業の概要	保育所において実習指導者の指導の下、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に、保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 保育所の機能と役割を具体的に理解するとともに、子どもの観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解および保育士の職務に対する理解を深める。</p> <p>【到達目標】 保育所の機能や役割について観察を通して把握し、説明ができる。子どもへの観察やかかわりを通して、発達段階を理解し、個性を実感して洞察を深め、直接的に援助へと行動ができる。保育士の指導・援助を得て、自ら保育を部分的に実践し、振り返りから課題を見つけ出せる。</p>						
授業の方法等	原則、公立保育所(一部、私立保育所)において、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に10日間以上、80時間上の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	細菌検査陰性、実習指導Ⅰの出席状況、麻疹の予防接種証等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 また、1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加は必須です。 実習園は、原則として居住地をもとに大学が依頼し、当該の市区町村が決定します。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育所の役割と機能 <ol style="list-style-type: none"> 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり 保育所保育指針に基づく保育の展開 子どもの理解 <ol style="list-style-type: none"> 子どもの観察とその記録による理解 子どもの発達過程の理解 子どもへの援助や関わり 保育内容・保育環境 <ol style="list-style-type: none"> 保育の計画に基づく保育内容 子どもの発達過程に応じた保育内容 子どもの生活や遊びと保育環境 子どもの健康と安全 保育の計画・観察・記録 <ol style="list-style-type: none"> 全体的な計画と指導計画及び評価の理解 記録に基づく省察・自己評価 専門職としての保育士の役割と職業倫理 <ol style="list-style-type: none"> 保育士の業務内容 職員間の役割分担や連携・協働 保育士の役割と職業倫理 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
------------	---

授業科目名	施設実習Ⅰ*			教員名	宇田川 和久		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅰ〕				ナンバリング	1D705	
授業内容を示すキーワード	児童福祉施設 障害児・者 児童養護 日常生活支援 施設保育士 デイリープログラム						
授業の概要	乳児院や児童養護施設などの居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等の生活に参加し、実習指導者の指導の下、利用者の理解を図るとともに、施設の役割や機能及び保育士としての職務、養護や支援の実際を学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 児童福祉施設等で子どもや利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実際、施設の役割と機能について理解する。</p> <p>【到達目標】 児童福祉施設等の役割と機能、施設等の生活と一日の流れ、養護の意義と内容、技術などについて理解し、説明できる。子どもや利用者の心情等を受容し、共感することができる。職員の指導・援助を得て子どもや利用者に対する援助・支援の一部を担当できる。</p>						
授業の方法等	居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等において、10日間以上、80時間以上の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	実習指導Ⅱ 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	細菌検査陰性、実習指導Ⅱの出席状況、麻疹の予防接種証等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 実習施設の決定は大学が行います。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設の役割と機能 <ul style="list-style-type: none"> (1)施設における子どもや利用者の生活と保育士の援助や関わり (2)施設の役割と機能 子どもや利用者の理解 <ul style="list-style-type: none"> (1)子どもや利用者の観察とその記録 (2)個々の状態に応じた援助や関わり 施設における子どもや利用者の生活と環境 <ul style="list-style-type: none"> (1)計画に基づく活動や援助 (2)子どもや利用者の心身の状態に応じた生活と対応 (3)子どもや利用者の活動と環境 計画と記録 <ul style="list-style-type: none"> (1)支援計画の理解と活用 (2)記録に基づく省察・自己評価 専門職としての保育士の役割と倫理 <ul style="list-style-type: none"> (1)保育士の業務内容 (2)職員間の役割分担や連携 (3)保育士の役割と職業倫理 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び実践の準備は、原則自宅で行います。
------------	---

授業科目名	教育実習Ⅰ*			教員名	橋 和代		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	1	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕				ナンバリング	1D706	
授業内容を示すキーワード	幼稚園 幼稚園教諭 観察実習 部分実習 子どもの発達理解						
授業の概要	幼稚園において実習指導者の指導の下、幼児と生活をともにしながら幼児の発達理解に努め、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動の基本的事項を学ぶとともに、幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術の基礎を培います。特に、実際の現場において見学・観察を行うことで、幼児の実態や幼稚園教諭が行うさまざまな活動（援助、学級経営、その他職務など）を学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 幼稚園での生活を通して、幼児や教育活動の保育環境等に対し適切な観察を行うとともに、幼稚園教諭の補助的な役割を担うことを通じて、幼児及び幼稚園の実態を理解し、学級経営や教育活動の特色を理解する。</p> <p>【到達目標】 幼児との関わりを通じて、その実態や課題を把握することができる。教諭の保育を視点を持って観察し記録できる。実習園の保育方針や組織体制を理解している。クラスの担任の補助的な役割を担うことができる。</p>						
授業の方法等	公立または私立の幼稚園において、見学・観察実習を中心に1週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499)内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
参考書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」文部科学省/チャイルド本社 「幼児理解に基づいた評価」文部科学省/チャイルド本社 「指導と評価に生かす記録」文部科学省/チャイルド本社						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ 教育実習Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	実習指導Ⅰ・Ⅱの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加は必須です。 実習園の決定は、希望調査を実施して大学で行います。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園の一日、生活の流れを把握する。 2. 幼児の発達や興味・関心、個性などの幼児に関する理解に努める。 3. 物的環境や人的環境、社会的環境など保育環境について学ぶ。 4. 保育内容や幼児の活動の様子について学ぶ。 5. 幼稚園教諭の行うさまざまな活動について知る。 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び保育実践の準備等は、原則自宅で行います。
------------	--

令和4年度 ディプロマポリシーに掲げる学力の割合について(令和4年度入学生)

配当 年次	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	合計 100%
		知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度			
		保育者としての専門的知識・技能(%)	社会人としての必要な教養・知識(%)	獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもって的確に表現する力(%)	保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする積極的な態度(%)	人や自然を深く愛し、慈しむ態度(%)	社会人として必要なマナー・常識・態度(%)	
1・2	生命倫理	0	30	40	0	10	20	100
1	コンピュータ演習	20	30	20	10	10	10	100
1	キャリアアップセミナーⅠ	10	30	20	20	0	20	100
1	キャリアアップセミナーⅡ(1年生)	10	30	20	20	0	20	100
1	保育入門	30	10	20	10	20	10	100
1	保育原理	40	20	20	10	0	10	100
1	子ども家庭福祉	40	20	20	10	0	10	100
1	子ども家庭支援論	40	20	20	10	0	10	100
1	社会的養護Ⅰ	40	20	20	10	0	10	100
1	インクルーシブ教育・保育Ⅰ	30	10	20	20	10	10	100
1	保育の心理学	40	20	20	10	0	10	100
1	子どもの保健	70	0	20	10	0	0	100
1	保育内容健康	40	10	20	10	10	10	100
1	保育内容人間関係	30	10	30	10	10	10	100
1	保育内容環境	10	10	20	10	40	10	100
1	保育内容言葉	40	10	20	10	10	10	100
1	保育内容表現	40	10	30	10	10	0	100
1	音楽Ⅰ	30	10	20	10	20	10	100
1	音楽Ⅱ	30	10	30	10	10	10	100
1	図画工作	40	10	10	10	20	10	100
1	幼児体育	30	10	30	10	10	10	100
1	乳児保育Ⅰ	40	10	40	10	0	0	100
1	子どもの健康と安全	60	10	20	10	0	0	100
1	保育内容健康の指導法	40	10	20	10	10	10	100
1	保育内容人間関係の指導法	20	20	20	20	10	10	100
1	保育内容言葉の指導法	40	10	20	10	10	10	100
1	子ども文化演習A	50	0	20	10	10	10	100
1	教育方法・技術論	30	10	30	10	10	10	100
1	子ども学演習Ⅰ	30	20	20	10	10	10	100
1	子ども学演習Ⅱ	30	20	20	10	10	10	100
1・2	アウトドア演習A	20	10	20	10	30	10	100
1	ソーイング演習	40	20	10	10	10	10	100
1・2	ナチュラルアート	10	10	20	10	40	10	100
1・2	ダンスムーブメント	20	10	40	10	10	10	100
1	実習指導Ⅰ	20	10	20	10	10	30	100
1	実習指導Ⅱ	20	10	20	10	10	30	100
1	保育実習Ⅰ	20	10	20	10	10	30	100
1	施設実習Ⅰ	30	10	20	20	10	10	100
1	教育実習Ⅰ	20	20	30	10	10	10	100

山村学園短期大学子ども学科カリキュラムツリー(令和4年度入学生)

ディプロマポリシー(学位授与の方針)
子ども学科では、建学の精神(質実・英知・愛敬)、学則にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学則第43条(卒業)に示す所定の教育課程を修め、66単位以上を累積GPA一定以上の成績で修得し、以下のような知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。
(知識・技能)
1 保育者としての専門的知識・技能
2 社会人として必要な教養・知識(思考力・判断力・表現力)
3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもって的確に表現する力
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
4 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする主体的・積極的な態度
5 人や自然を深く愛し、慈しむ態度
6 社会人として必要なマナー・常識・態度

卒業必修		保育士資格に必修		保育士資格に選択必修		幼稚園教諭2種免許状に必修		選択科目	
入学前	1年				2年				
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
入学前教育	4D111	保育入門	前期 1D601 子ども学演習Ⅰ	後期 1D602 子ども学演習Ⅱ	前期 2D603 子ども学ゼミナールⅠ	後期 2D604 子ども学ゼミナールⅡ			
			保育体験Ⅰ・保育体験Ⅱ・保育体験Ⅲ・保育体験Ⅳ		保育体験Ⅳ				
			キャリアアップセミナーⅠ	キャリアアップセミナーⅡ	キャリアアップセミナーⅢ	キャリアアップセミナーⅣ			
			子ども文化演習A	ソーイング演習		子ども文化演習B			
			音楽Ⅰ	音楽Ⅱ	ピアノⅠ	ピアノⅡ			
			図画工作						
			ナチュラルアート		ナチュラルアート				
			幼児体育	ダンスムーブメント			ダンスムーブメント		
			アウトドア演習A		アウトドア演習A	アウトドア演習B			
						体育実技			
						体育講義			
						乳児小児救命法			
			子どもの保健	子どもの健康と安全	子どもの食と栄養				
			保育内容健康	保育内容健康の指導法					
			保育内容人間関係	保育内容人間関係の指導法					
			保育内容環境	保育内容環境の指導法					
			保育内容言葉	保育内容言葉の指導法					
			保育内容表現	保育内容表現の指導法					
			音楽Ⅰ	音楽Ⅱ					
			図画工作						
			幼児体育						
			乳児保育Ⅰ						
			子どもの健康と安全						
			保育内容健康の指導法						
			保育内容人間関係の指導法						
			保育内容言葉の指導法						
			子ども文化演習A						
			教育方法・技術論						
			子ども学演習Ⅰ						
			子ども学演習Ⅱ						
			アウトドア演習A						
			ソーイング演習						
			ナチュラルアート						
			ダンスムーブメント						
			実習指導Ⅰ						
			実習指導Ⅱ						
			保育実習Ⅰ						
			施設実習Ⅰ						
			教育実習Ⅰ						

○アルファベットは学科の記号、アルファベットの前の数字は配当年次(3・1・2年生どちらの学年も可、4:入学前「保育入門」)、下3桁は系統(系列)番号、下1・2桁は科目番号を示す。
○保育体験Ⅰは幼稚園・保育所の協力を待って行うふれあい体験活動、Ⅱは幼稚園・保育所見学、Ⅲは施設見学を示す。保育体験Ⅳは1・2年生全員が参加するボランティア活動を示す。

令和4年度 実務教員科目一覧

R4.4.1

【令和4年度入学生】

系統(系列)	授業科目名	単位数
教養科目	キャリアアップセミナーⅠ	1
	キャリアアップセミナーⅡ	1
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2
教職に関する科目	保育・教職実践演習(幼稚園)	2
保育者の資質を高める科目	子ども学演習Ⅰ	1
	子ども学演習Ⅱ	1
実習科目	実習指導Ⅰ	1
	実習指導Ⅱ	2
	保育実習Ⅰ	2
	施設実習Ⅰ	2
	教育実習Ⅰ	1
単位数 合計		18

【令和3年度入学生】

系統(系列)	授業科目名	単位数
教養科目	キャリアアップセミナーⅡ	2
保育の本質・目的に関する科目	教育原理	2
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	2
教職に関する科目	保育・教職実践演習(幼稚園)	2
保育者の資質を高める科目	総合演習	2
実習科目	実習指導Ⅲ	1
	保育実習Ⅱ	2
	施設実習Ⅱ	2
	教育実習Ⅱ	3
単位数 合計		18

令和4年度 実務教員の略歴

R4.4.1

教員名	略歴	担当科目
宇田川 和久	昭和58年より埼玉県立養護学校の教員として勤務。平成18年から養護学校の開設準備委員、開設準備副委員長、埼玉県立総合教育センター、埼玉県教育局で勤務の後、平成29年埼玉県立特別支援学校校長を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ
		教育原理 実習指導Ⅲ
高後 仁	昭和60年よりさいたま市立(大宮市立)小学校の教員として勤務。平成17年～19年、平成22年にさいたま市教育委員会で勤務の後、さいたま市立館岩少年自然の家所長、さいたま市立小学校の校長を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅡ
		教育原理
		総合演習
酒井 誠	平成24年より千葉県私立高等学校の非常勤講師として勤務。平成25年より東京都国立大学にて教育研究助手として勤務の後、平成28年より埼玉県の私立小学校非常勤講師、平成30年より東京都私立大学非常勤講師を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
巢立 佳宏	平成23年より子育て支援センタの保育士として勤務。また、児童養護施設にて心理士、小学校(群馬県)の学校カウンセラー、鴻巣市教育支援センターで埼玉県スクールソーシャルワーカーとして勤務の後、現在に至る。	保育の心理学
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ
		キャリアアップセミナーⅡ
		保育・教職実践演習(幼稚園)
		総合演習 実習指導Ⅲ
橋 和代	昭和57年より社会福祉法人の保育士として勤務。平成14年より専門学校での講師、短期大学で非常勤講師や准教授を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅰ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
		保育内容総論 実習指導Ⅲ
橋本 淳一	平成3年より東京都社会福祉協議会東京ボランティアセンター専門員として勤務。昭和63年より看護専門学校の非常勤講師、保育専門学校の講師、短期大学・大学での非常勤講師を経て現在に至る。	実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ
		保育・教職実践演習(幼稚園)
		実習指導Ⅲ
室井 佑美	平成17年より東京都立の障害保健福祉センター子ども療育事業で保育士として勤務の後、平成18年より病院内の医事課連携相談室で社会福祉士として勤務。平成19年からは大学にて助教(実習担当)、専門学校での専任講師および非常勤講師、病院内で非常勤保育士として勤務を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		保育原理
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅰ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
		保育内容総論
実習指導Ⅲ		

山村学園短期大学

〒350-0396 埼玉県比企郡鳩山町石坂604

【TEL】 049-296-2000

【FAX】 049-096-4880